

経営指標 1 「岩倉市の施策に対する市民の満足度」について

	H 24 年度 調査	H 25 年度 調査	H 26 年度 調査	H 27 年度 調査	H 28 年度 調査
市民満足度 平成 27 年度には、市の施策に対する市民満足度の平均得点を 0.10 点とします。(H20 年度市民意向調査：－0.02)	－0.02	0.01	－0.02	0.00	0.05



【コメント】

市の施策 41 項目全体の満足度の平均得点は 0.05 点となり、平成 27 年度の調査における平均得点 0.00 と比べて 0.05 点上昇したものの、当初の目標である 0.10 を達成することができませんでした。

昨年度もコメントしておりますが、岩倉市行政経営プランに基づき、毎年度、実施してきた市民満足度調査では、市の施策に対する満足度や重要度、定住意向、住みやすさの評価など調査時点における市民の意向を把握することはできましたが、この調査における年度間の指標と行政経営プラン及びこれに基づく行動計画における市の取組の進捗や個別の指標の達成状況と、関連づけて分析することはできませんでした。

市民の満足度を向上させるというのは、行政において重要な指標ではありますが、次期の行政改革に関する計画では、実績との関連が分かりやすい成果指標の設定を検討する必要があります。

今回の調査を報告書としてまとめました。

調査の結果を通して、市の施策に対する市民満足度や重要度、定住意向、住みやすさの評価などについて市民の皆様の考えを考察していきます。

岩倉市行政経営プラン 市民満足度調査
調査結果報告書

平成 28 年 8 月

岩 倉 市

目 次

はじめに 調査の概要	1
------------	---

1. 市民満足度調査における設問

施策に対する満足度	2
施策に対する重要度	8
施策に対する満足度と重要度の評価（ポートフォリオ分析）	14
生活の場としての評価	23
総合的な住みやすさの評価	24
定住意向	25
定住理由	27
移転理由	28

2. 回答者のプロフィール

性別・年齢・学校区	30
-----------	----

資料

アンケート調査表（原票）	
--------------	--

はじめに 調査の概要

1. 調査の目的

岩倉市では、行政改革に関する指針として、平成 27 年度を目標年次とした「岩倉市行政経営プラン」を策定しました。この計画においては、これまで本市が進めてきた、經常経費や人件費を始めとした経費の削減に加えて、行政経営の視点に立った市の施策に対する市民満足度の向上を経営指標の 1 つとして挙げています。

この報告書は、この経営指標の目標に対する達成度を測るために実施した「岩倉市行政経営プラン 市民満足度調査」の結果をまとめたものです。

2. 調査対象者

平成 28 年 4 月 28 日現在で、岩倉市に在住している 20 歳以上の市民から、1,500 人（定住外国人 67 人を含む）を層化無作為にて抽出しました。

3. 調査実施方法

郵便により調査対象者へ配布し、無記名により郵送で回収しました。

4. 調査実施期間

平成 28 年 4 月 28 日～平成 28 年 5 月 27 日

5. 調査票の回収状況

配布数 1,500 人に対して、回収数は 467 人で回収率は 31.1%（昨年度に比べ 5.8 ポイントの減）でした。

1. 「岩倉市行政経営プラン 市民満足度調査」における設問

施策に対する満足度（問4）

問4 あなたは、岩倉市が行っている様々な施策について、どの程度満足していますか。【次の1から41までの各項目について、「満足度」をそれぞれで1つずつ選んで○印をつけてください。】

岩倉市の施策に関する各項目の満足度について、次の方法により5段階の得点を付け、平均得点を算出しました。この評点を指標として、満足度の分析を行いました。なお、平均得点は、+2に近いほど満足度が高いことを示し、逆に-2に近いほど満足度が低い（不満度が高い）ことを示しています。

【満足度の平均得点の算出方法】

満足度	得点（評点）
満足	+2点
やや満足	+1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

満足度の平均得点

$$= \{ \text{「満足」の回答数} \times (+2 \text{点}) + \text{「やや満足」の回答数} \times (+1 \text{点}) + \text{「普通」の回答数} \times (0 \text{点}) + \text{「やや不満」の回答数} \times (-1 \text{点}) + \text{「不満」の回答数} \times (-2 \text{点}) \} \div \text{総回答数}$$

【全体】

○H27年度調査と比較すると、41項目中34項目で得点が上昇しました。H27年度は32項目上昇しましたので、上昇した項目が2項目多いことになります。得点の差はいずれも大きくありませんが、「小売商業の振興」が0.14ポイント上昇しているのが最も大きなものです。

○「自然環境の保全」、「安全で安定した水」、「ごみ収集・処理体制」、「公共交通の利便性」、「消防・救急体制」、「子ども等の医療費助成」、「市政情報の提供」、「健康づくりへの支援」、「児童福祉」、「生活排水処理」などの施策項目の満足度が高くなっています。

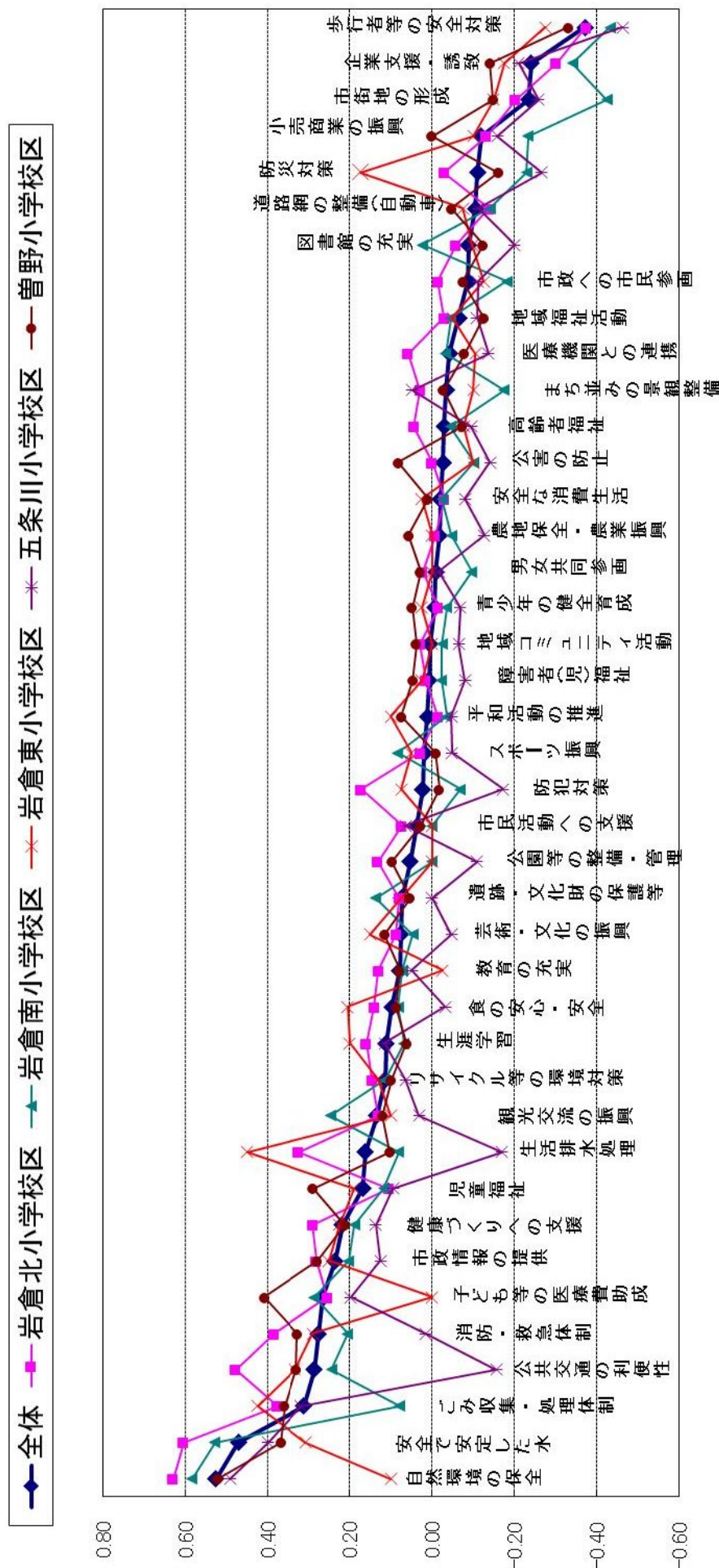
○マイナスの評価の項目は、41項目中17項目あり、H27年度と比べて3項目減少しました。「歩行者等の安全対策」、「企業支援・誘致」、「市街地の形成」、「小売商業の振興」、「防災対策」、「道路網の整備（自動車）」、「図書館の充実」、「市政への市民参画」、「地域福祉活動」、「医療機関との連携」などの施策項目の満足度が低く、概してまちの活力や安全・安心などに係る項目の満足度が低くなっています。

○平成20年度から今回の調査までの間に、満足度の得点が一度も下降していない項目は「リサイクル等の環境対策」です。なお、この間に満足度の得点が一度も上昇したことのない項目はありませんでした。

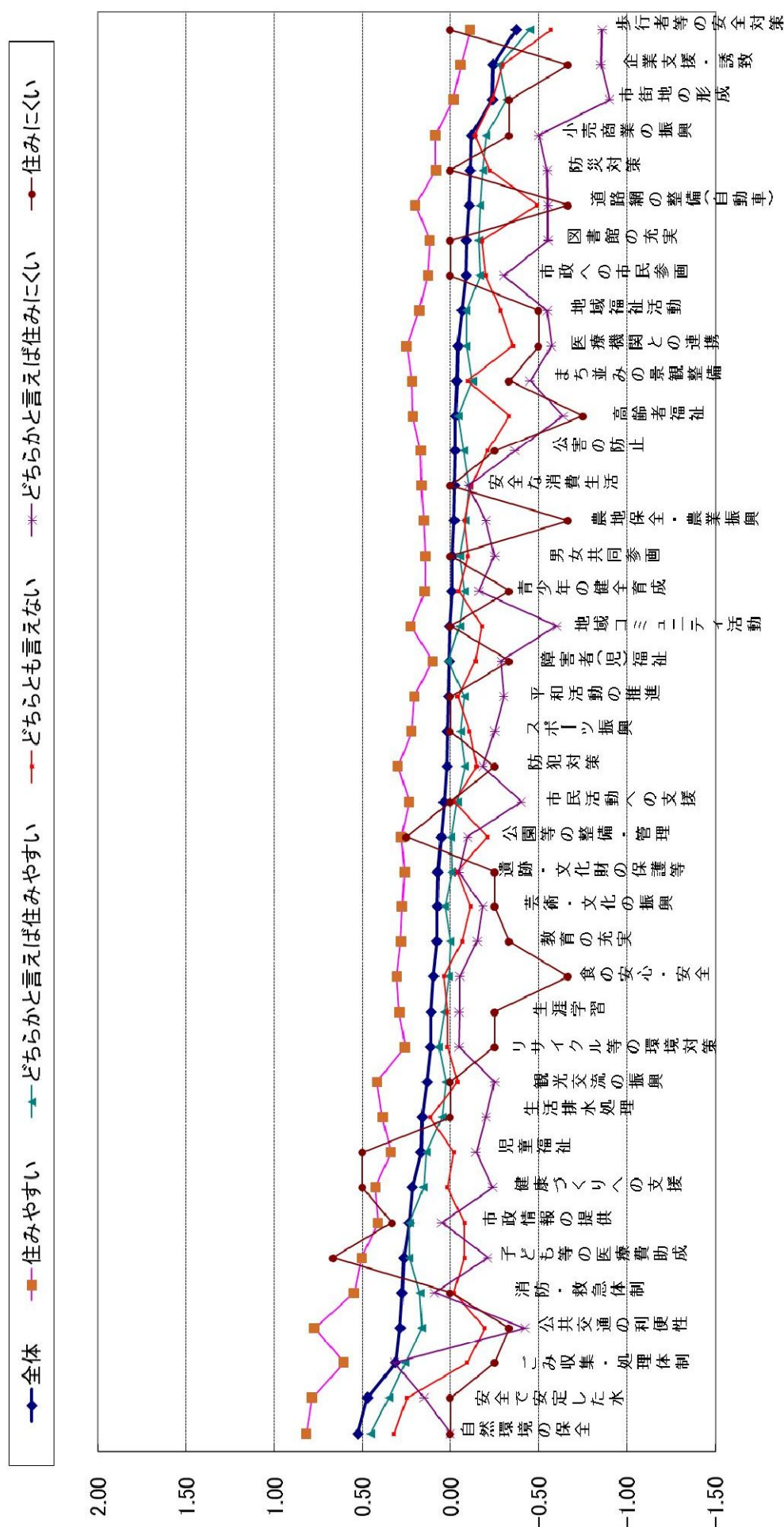
「施策の満足度」これまでの調査との比較

H28 順位	H27 順位	H26 順位	H25 順位	H24 順位	H20 順位	項目	H28 満足度①	H27 満足度②	差 ①－②	H26 満足度	H25 満足度	H24 満足度	H20 満足度
1	1	1	1	1	1	8 自然環境の保全	↑ 0.53	↑ 0.46	0.07	0.44	0.42	0.43	0.52
2	2	2	2	2	2	28 安全で安定した水	↑ 0.47	↑ 0.38	0.09	0.33	0.34	0.31	0.33
↑ 3	↓ 6	↑ 3	4	4	4	12 ごみ収集・処理体制	↑ 0.31	↓ 0.18	0.13	0.21	0.21	0.18	0.26
↓ 4	↑ 3	↑ 7	↓ 8	↓ 5	3	24 公共交通の利便性	↑ 0.29	↑ 0.21	0.08	0.11	0.12	0.18	0.29
↑ 5	↑ 4	↑ 5	↓ 6	↑ 3	5	14 消防・救急体制	↑ 0.28	↑ 0.21	0.07	0.20	0.17	0.19	0.20
↑ 6	↑ 5	↓ 6	↑ 5	↑ 7	33	7 子ども等の医療費助成	↑ 0.26	↑ 0.20	0.06	0.13	0.19	0.13	▲ 0.13
7	↓ 7	↓ 4	↑ 3	6	6	41 市政情報の提供	↑ 0.23	↓ 0.17	0.06	0.20	0.22	0.15	0.16
8	↑ 8	↓ 9	↑ 7	8	8	1 健康づくりへの支援	↑ 0.22	↑ 0.15	0.07	0.06	0.13	0.11	0.07
↑ 9	↓ 10	8	↑ 8	11	11	4 児童福祉	↑ 0.17	↑ 0.09	0.08	0.09	0.12	0.07	0.01
↓ 10	↑ 9	↓ 23	↑ 19	↓ 21	17	29 生活排水処理	↑ 0.16	↑ 0.10	0.06	▲ 0.04	▲ 0.01	▲ 0.03	▲ 0.01
↑ 11	↓ 13	↓ 11	10	↓ 10	7	35 観光交流の振興	↑ 0.13	↑ 0.06	0.07	0.04	0.11	0.08	0.13
↑ 12	16	16	↓ 16	↓ 15	11	11 リサイクル等の環境対策	↑ 0.11	↑ 0.05	0.06	0.02	0.02	0.02	0.01
↓ 13	↑ 11	↓ 14	↑ 13	↑ 14	20	17 生涯学習	↑ 0.11	↑ 0.07	0.04	0.03	0.07	0.04	▲ 0.04
↑ 14	↓ 15	↑ 10	↓ 15	13	13	31 食の安心・安全	↑ 0.10	↓ 0.05	0.05	0.06	0.05	0.05	0.00
↑ 15	↓ 22	↓ 20	↑ 19	↑ 20	24	23 教育の充実	↑ 0.08	↑ ▲ 0.01	0.09	▲ 0.03	▲ 0.01	▲ 0.03	▲ 0.06
↓ 16	↑ 12	↓ 13	↓ 12	↑ 9	10	19 芸術・文化の振興	↑ 0.08	↑ 0.06	0.02	0.03	0.08	0.09	0.05
↓ 17	↑ 14	↓ 15	↑ 11	↓ 12	9	18 遺跡・文化財の保護等	↑ 0.07	↑ 0.05	0.02	0.03	0.09	0.05	0.06
↑ 18	↓ 20	↑ 12	16	↑ 16	21	9 公園等の整備・管理	↑ 0.05	↓ 0.01	0.04	0.04	0.02	0.02	▲ 0.05
↑ 19	↓ 23	↑ 22	↓ 23	↑ 18	19	36 市民活動への支援	↑ 0.04	↑ ▲ 0.02	0.06	▲ 0.03	▲ 0.02	▲ 0.01	▲ 0.02
↓ 20	17	↑ 17	↓ 27	↓ 25	13	15 防犯対策	↓ 0.02	↑ 0.04	▲ 0.02	0.01	▲ 0.05	▲ 0.05	0.00
↑ 21	↑ 24	↓ 26	19	↓ 19	17	22 スポーツ振興	↑ 0.02	↑ ▲ 0.04	0.06	▲ 0.07	▲ 0.01	▲ 0.01	▲ 0.01
↓ 22	↓ 21	18	↓ 18	↓ 17	13	40 平和活動の推進	↑ 0.01	↑ 0.00	0.01	0.00	0.01	▲ 0.01	0.00
↑ 23	19	↓ 19	↑ 14	↓ 24	21	5 障害者(児)福祉	↓ 0.01	↑ 0.02	▲ 0.01	▲ 0.03	0.06	▲ 0.03	▲ 0.05
↓ 24	↑ 18	↓ 25	↑ 19	↓ 27	13	37 地域コミュニティ活動	↓ 0.00	↑ 0.03	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.01	▲ 0.05	0.00
↑ 25	29	↓ 29	↓ 26	↑ 22	24	21 青少年の健全育成	↑ ▲ 0.01	↑ ▲ 0.07	0.06	▲ 0.08	▲ 0.04	▲ 0.03	▲ 0.06
↑ 26	↓ 27	↑ 24	↓ 27	↓ 26	24	39 男女共同参画	↑ ▲ 0.01	↓ ▲ 0.07	0.06	▲ 0.05	▲ 0.05	▲ 0.05	▲ 0.06
↓ 27	↑ 25	↓ 27	↑ 25	↓ 28	21	30 農地保全・農業振興	↑ ▲ 0.02	↑ ▲ 0.05	0.03	▲ 0.08	▲ 0.03	▲ 0.05	▲ 0.05
↑ 28	↓ 30	↑ 21	↓ 30	29	29	34 安全な消費生活	↑ ▲ 0.02	↓ ▲ 0.07	0.05	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.07	▲ 0.08
↑ 29	↓ 36	31	↑ 31	↓ 34	31	10 公害の防止	↑ ▲ 0.03	↓ ▲ 0.12	0.09	▲ 0.10	▲ 0.10	▲ 0.15	▲ 0.12
↑ 30	↓ 31	↓ 30	23	↑ 23	31	3 高齢者福祉	↑ ▲ 0.03	↑ ▲ 0.08	0.05	▲ 0.09	▲ 0.02	▲ 0.03	▲ 0.12
↑ 31	↓ 33	↑ 28	↑ 33	↓ 35	33	27 まち並みの景観整備	↑ ▲ 0.03	↓ ▲ 0.10	0.07	▲ 0.08	▲ 0.11	▲ 0.16	▲ 0.13
↑ 32	34	↓ 34	31	↑ 31	37	2 医療機関との連携	↑ ▲ 0.04	↑ ▲ 0.12	0.08	▲ 0.14	▲ 0.10	▲ 0.11	▲ 0.20
↓ 33	↑ 26	↓ 32	↑ 27	↓ 32	28	6 地域福祉活動	▲ 0.06	↑ ▲ 0.06	0.00	▲ 0.11	▲ 0.05	▲ 0.12	▲ 0.07
↑ 34	↓ 37	33	33	↑ 33	35	38 市政への市民参画	↑ ▲ 0.09	↑ ▲ 0.12	0.03	▲ 0.12	▲ 0.11	▲ 0.12	▲ 0.15
↓ 35	↑ 28	35	↓ 35	↓ 30	24	20 図書館の充実	↓ ▲ 0.09	↑ ▲ 0.07	▲ 0.02	▲ 0.14	▲ 0.12	▲ 0.07	▲ 0.06
↓ 36	↑ 35	↑ 36	↓ 37	↓ 36	29	25 道路網の整備(自動車)	↑ ▲ 0.11	↑ ▲ 0.12	0.01	▲ 0.15	▲ 0.13	▲ 0.17	▲ 0.08
↓ 37	↑ 32	↓ 37	↑ 35	↑ 37	38	13 防災対策	↓ ▲ 0.11	↑ ▲ 0.09	▲ 0.02	▲ 0.15	▲ 0.12	▲ 0.19	▲ 0.23
↑ 38	↑ 39	↓ 40	39	39	39	33 小売商業の振興	↑ ▲ 0.12	↑ ▲ 0.26	0.14	▲ 0.30	▲ 0.27	▲ 0.27	▲ 0.25
↓ 39	↑ 38	↓ 39	38	↓ 38	36	26 市街地の形成	↑ ▲ 0.23	↑ ▲ 0.25	0.02	▲ 0.27	▲ 0.22	▲ 0.27	▲ 0.19
40	↓ 40	↑ 38	↑ 39	40	40	32 企業支援・誘致	↑ ▲ 0.24	↓ ▲ 0.33	0.09	▲ 0.26	▲ 0.27	▲ 0.31	▲ 0.28
41	41	41	41	41	41	16 歩行者等の安全対策	↓ ▲ 0.37	↑ ▲ 0.36	▲ 0.01	▲ 0.42	▲ 0.30	▲ 0.42	▲ 0.34

小学校区別「施策の満足度」



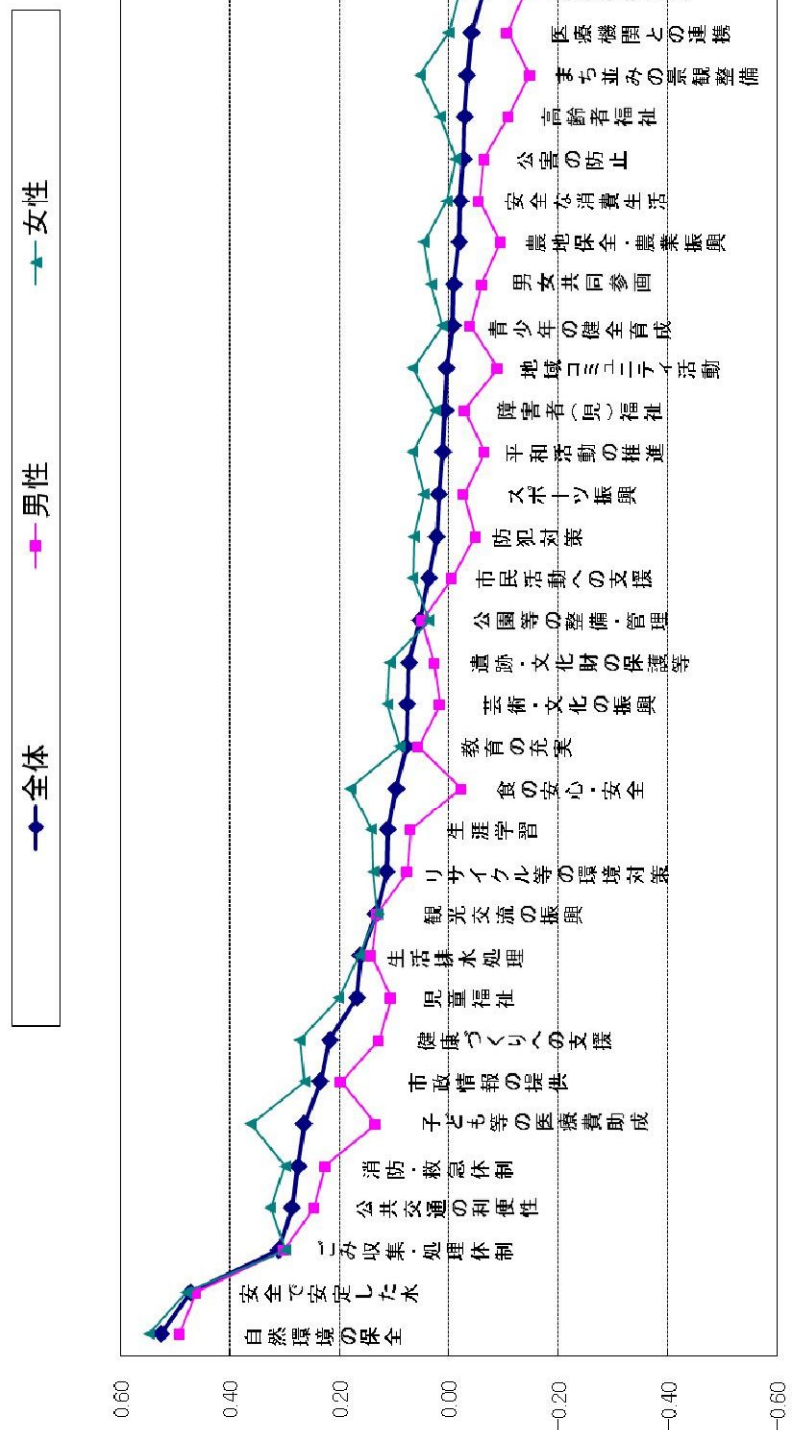
総合的な住みやすさ※別「施策の満足度」



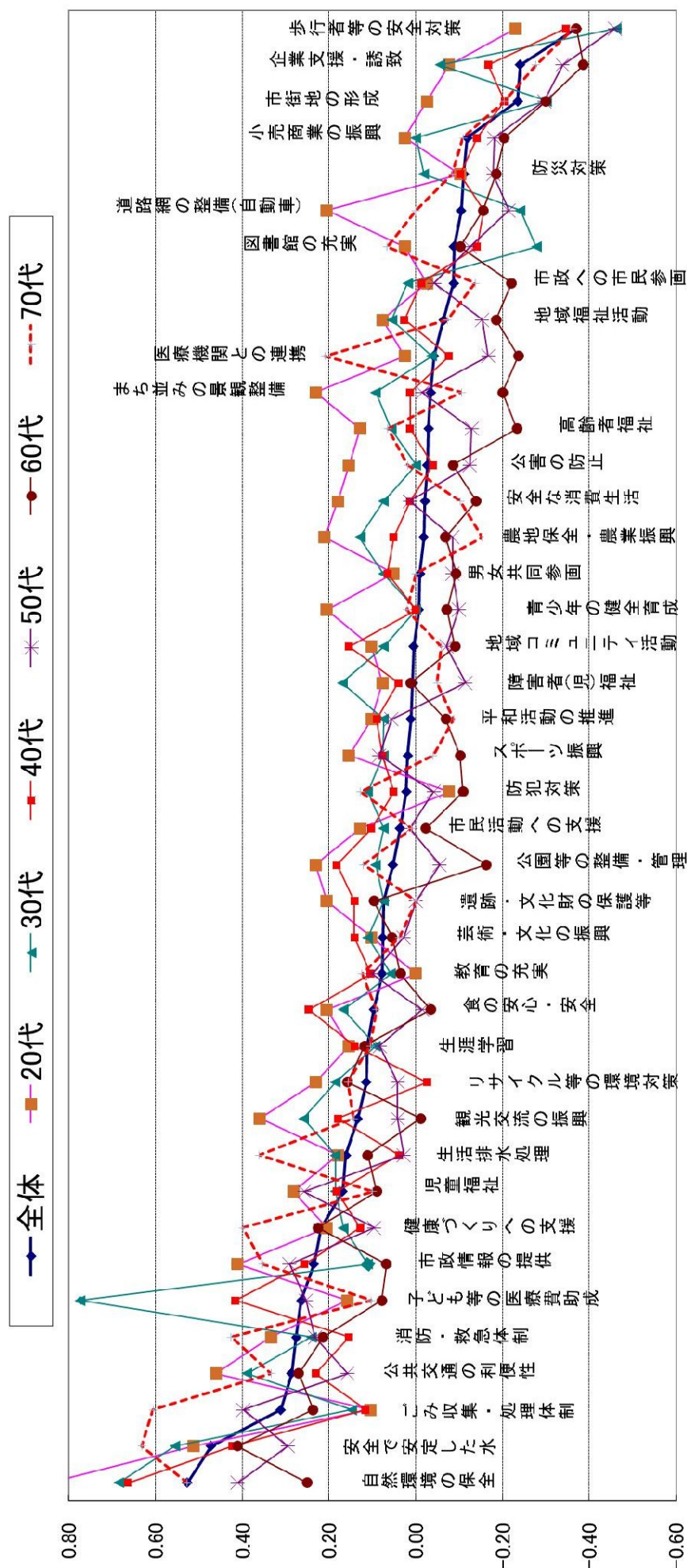
＜総合的な住みやすさについての回答者数内訳＞

1. 住みやすい：146人、2. どちらかといえば住みやすい：227人、3. どちらとも言えない：55人、4. どちらかといえば住みにくい：23人、5. 住みにくい：4人
- ※「総合的な住みやすさ」は、問6で回答する項目です（24ページ参照）

男女別「施策の満足度」



年代別「施策の満足度」



<回答者の年代別内訳>

20代: 39人、30代: 54人、40代: 78人、50代: 75人、60代: 95人、70代以上: 117人 (30ページ参照)

施策に対する重要度（問4）

問4 あなたは、岩倉市が行っている様々な施策について、どの程度重要だと考えていますか。【次の1から41までの各項目について、「重要度」をそれぞれで1つずつ選んで○印をつけてください。】

岩倉市の施策に関する各項目の重要度について、次の方法により5段階の得点を付け、平均得点を算出しました。この評点を指標として、重要度の分析を行いました。なお、平均得点は、+2に近いほど重要度が高いことを示し、逆に-2に近いほど重要度が低いことを示しています。

【重要度の平均得点の算出方法】

重要度	得点（評点）
非常に重要	+2点
重要	+1点
普通	0点
あまり重要でない	-1点
重要でない	-2点

重要度の平均得点

= {「非常に重要」の回答数×(+2点) + 「重要」の回答数×(+1点) + 「普通」の回答数×(0点) + 「あまり重要でない」の回答数×(-1点) + 「重要でない」の回答数×(-2点)} ÷ 総回答数

【全体】

○41項目すべてがプラス得点となっています。

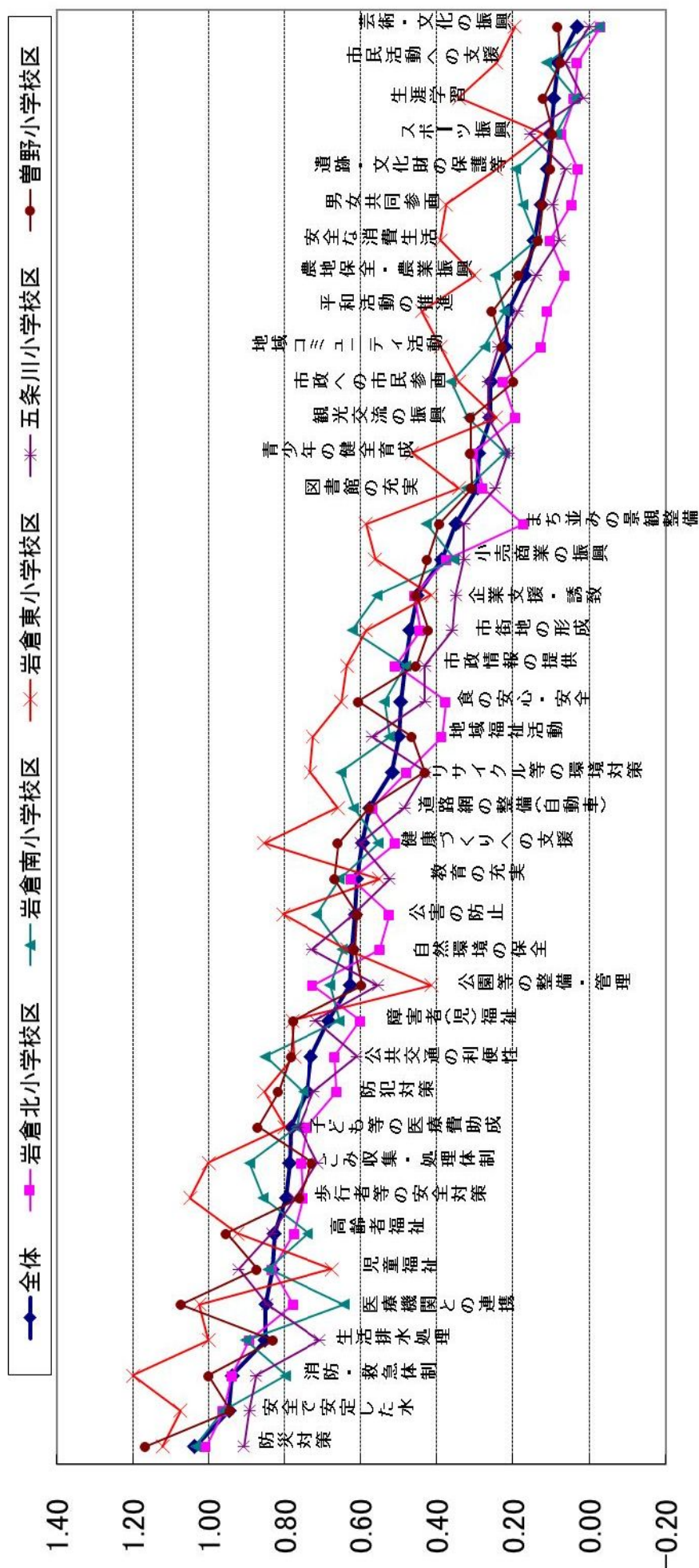
○H27年度調査と比較すると、41項目中18項目で得点が上昇しました。H26年度は30項目上昇しましたので、上昇した項目が12項目少ないことになります。得点の差はいずれも大きくありませんが、「防災対策」が0.15ポイント上昇しているのが最も大きなものです。

○重要度が高い施策項目としては、「防災対策」、「安全で安定した水」、「消防・救急体制」、「生活排水処理」、「医療機関との連携」、「児童福祉」、「高齢者福祉」、「歩行者等の安全対策」、「ごみ収集・処理体制」、「子ども等の医療費助成」などであり、安全・安心や公衆衛生、福祉など暮らしの基本的な部分に関わる項目の重要度が高くなっています。

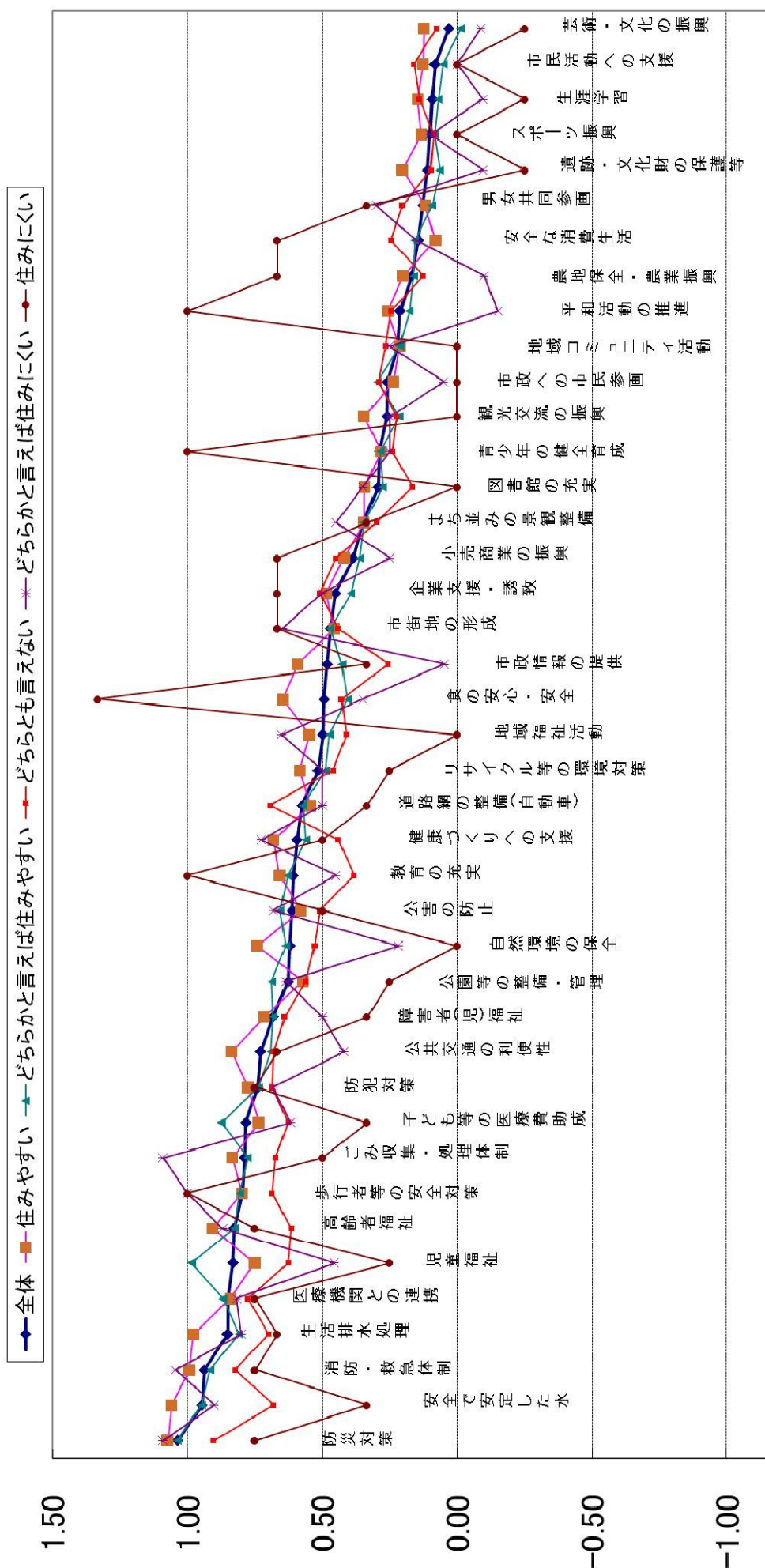
「施策の重要度」これまでの調査との比較

H28 順位	H27 順位	H26 順位	H25 順位	H24 順位	H20 順位	項目	H28 重要度①	H27 重要度②	差 ①－②	H26 重要度	H25 重要度	H24 重要度	H20 重要度
1	1	↑ 1	↓ 3	↓ 2	1	13 防災対策	↑ 1.04	↓ 0.89	0.15	0.93	0.89	0.88	1.08
2	↑ 2	↓ 3	1	↑ 1	3	28 安全で安定した水	↑ 0.95	↑ 0.88	0.07	0.87	0.90	0.96	1.00
3	↓ 3	↑ 2	↑ 4	↓ 5	2	14 消防・救急体制	↑ 0.94	↓ 0.86	0.08	0.89	0.85	0.86	1.01
↑ 4	↑ 8	↓ 11	↓ 5	↑ 4	6	29 生活排水処理	↑ 0.85	↑ 0.80	0.05	0.70	0.81	0.86	0.89
↓ 5	↓ 4	↓ 3	↑ 1	3	3	2 医療機関との連携	↑ 0.85	↓ 0.81	0.04	0.87	0.90	0.87	1.00
6	↑ 6	↓ 8	↑ 7	↓ 12	9	4 児童福祉	↑ 0.83	↑ 0.81	0.02	0.78	0.80	0.66	0.85
↓ 7	↑ 5	↓ 6	↑ 5	↓ 9	5	3 高齢者福祉	↑ 0.83	↑ 0.81	0.02	0.80	0.81	0.74	0.93
↑ 8	↓ 9	↑ 5	↓ 9	↑ 6	11	16 歩行者等の安全対策	↑ 0.80	↓ 0.79	0.01	0.84	0.77	0.82	0.82
↑ 9	↓ 10	↑ 7	8	8	8	12 ごみ収集・処理体制	↑ 0.79	↓ 0.77	0.02	0.79	0.79	0.74	0.86
↓ 10	↑ 7	↑ 9	↑ 10	↓ 11	10	7 子ども等の医療費助成	↓ 0.78	↑ 0.80	▲ 0.02	0.77	0.75	0.69	0.83
11	↓ 11	↑ 10	↓ 11	↓ 7	6	15 防犯対策	↑ 0.74	↓ 0.72	0.02	0.74	0.72	0.78	0.89
12	↑ 12	↓ 13	↓ 12	↑ 10	17	24 公共交通の利便性	↑ 0.73	↑ 0.69	0.04	0.63	0.69	0.72	0.69
↑ 13	↓ 16	↓ 15	↑ 13	↑ 14	16	5 障害者(児)福祉	↑ 0.68	↓ 0.60	0.08	0.61	0.62	0.57	0.71
↑ 14	↓ 15	↑ 12	↑ 19	↓ 21	18	9 公園等の整備・管理	↓ 0.63	↓ 0.63	▲ 0.00	0.64	0.54	0.51	0.68
↓ 15	↑ 13	↓ 15	↑ 15	↑ 19	20	8 自然環境の保全	↓ 0.62	↑ 0.65	▲ 0.03	0.61	0.60	0.54	0.62
↑ 16	17	17	17	↓ 17	13	10 公害の防止	↑ 0.61	↓ 0.59	0.02	0.60	0.59	0.56	0.77
↓ 17	↓ 14	↑ 13	↓ 14	↑ 13	19	23 教育の充実	↓ 0.61	↑ 0.64	▲ 0.03	0.63	0.61	0.61	0.64
18	18	↑ 18	↑ 15	↓ 16	14	1 健康づくりへの支援	↑ 0.59	↑ 0.57	0.02	0.56	0.60	0.56	0.74
↑ 19	23	↑ 23	↓ 24	↑ 20	21	25 道路網の整備(自動車)	↑ 0.58	↑ 0.49	0.09	0.45	0.44	0.53	0.51
↓ 20	↓ 19	↓ 20	↑ 18	↓ 23	12	11 リサイクル等の環境対策	↓ 0.52	↑ 0.57	▲ 0.05	0.52	0.55	0.50	0.78
↑ 21	25	↑ 22	24	↓ 24	22	6 地域福祉活動	↑ 0.50	↓ 0.47	0.03	0.49	0.44	0.48	0.49
↓ 22	↓ 20	↑ 19	↓ 20	↓ 18	14	31 食の安心・安全	↓ 0.49	↑ 0.54	▲ 0.05	0.54	0.53	0.55	0.74
↑ 23	↑ 24	↓ 26	↑ 23	↓ 25	24	41 市政情報の提供	↓ 0.48	↑ 0.49	▲ 0.01	0.41	0.48	0.44	0.47
↑ 24	↓ 26	↑ 24	26	↓ 26	25	26 市街地の形成	↓ 0.47	↑ 0.47	▲ 0.00	0.43	0.43	0.43	0.44
↓ 25	↑ 21	↓ 24	↓ 21	↑ 15	25	32 企業支援・誘致	↓ 0.45	↑ 0.54	▲ 0.09	0.43	0.52	0.57	0.44
↓ 26	↓ 22	21	↑ 21	22	22	33 小売商業の振興	↓ 0.39	↑ 0.52	▲ 0.13	0.50	0.52	0.51	0.49
↑ 27	↓ 29	↑ 28	↓ 30	29	29	27 まち並みの景観整備	↑ 0.35	↑ 0.31	0.04	0.31	0.29	0.29	0.35
↓ 28	27	27	↑ 27	↑ 31	32	20 図書館の充実	↓ 0.29	↓ 0.33	▲ 0.04	0.34	0.33	0.27	0.29
↓ 29	↑ 28	↓ 30	↓ 29	↑ 27	28	21 青少年の健全育成	↓ 0.29	↑ 0.33	▲ 0.04	0.25	0.30	0.33	0.37
30	↑ 30	↓ 31	↑ 28	↑ 30	34	35 観光交流の振興	↓ 0.26	↑ 0.31	▲ 0.05	0.23	0.31	0.29	0.24
31	↓ 31	↑ 29	↓ 31	↓ 28	27	38 市政への市民参画	↓ 0.26	↑ 0.28	▲ 0.02	0.27	0.28	0.32	0.38
↑ 32	35	↓ 35	↑ 33	↑ 34	35	37 地域コミュニティ活動	↑ 0.22	↑ 0.19	0.03	0.13	0.18	0.19	0.19
↓ 33	↑ 32	33	↑ 33	↓ 36	31	40 平和活動の推進	↓ 0.21	↑ 0.28	▲ 0.07	0.15	0.18	0.18	0.32
↓ 34	↓ 33	32	32	↓ 32	30	30 農地保全・農業振興	↓ 0.17	↑ 0.25	▲ 0.08	0.21	0.22	0.23	0.34
↓ 35	↑ 34	36	↓ 37	33	33	34 安全な消費生活	↓ 0.14	↑ 0.20	▲ 0.06	0.12	0.13	0.19	0.26
↑ 36	↓ 38	↑ 37	↓ 39	38	38	39 男女共同参画	↓ 0.13	↑ 0.15	▲ 0.02	0.10	0.11	0.12	0.18
37	↑ 37	↓ 39	↑ 38	↓ 40	35	18 遺跡・文化財の保護等	↓ 0.11	↑ 0.15	▲ 0.04	0.08	0.12	0.10	0.19
↓ 38	↓ 36	↑ 34	↓ 36	↑ 35	39	22 スポーツ振興	↓ 0.10	↑ 0.17	▲ 0.07	0.14	0.14	0.19	0.16
39	↓ 39	↓ 37	↑ 35	↓ 39	35	17 生涯学習	↓ 0.09	↑ 0.13	▲ 0.04	0.10	0.15	0.11	0.19
40	40	↓ 40	↓ 39	↑ 37	40	36 市民活動への支援	↓ 0.08	↑ 0.12	▲ 0.04	0.05	0.11	0.13	0.13
41	41	41	41	41	41	19 芸術・文化の振興	↓ 0.03	↑ 0.11	▲ 0.08	0.02	0.07	0.08	0.10

小学校区別「施策の重要度」



総合的な住みやすさ別「施策の重要度」

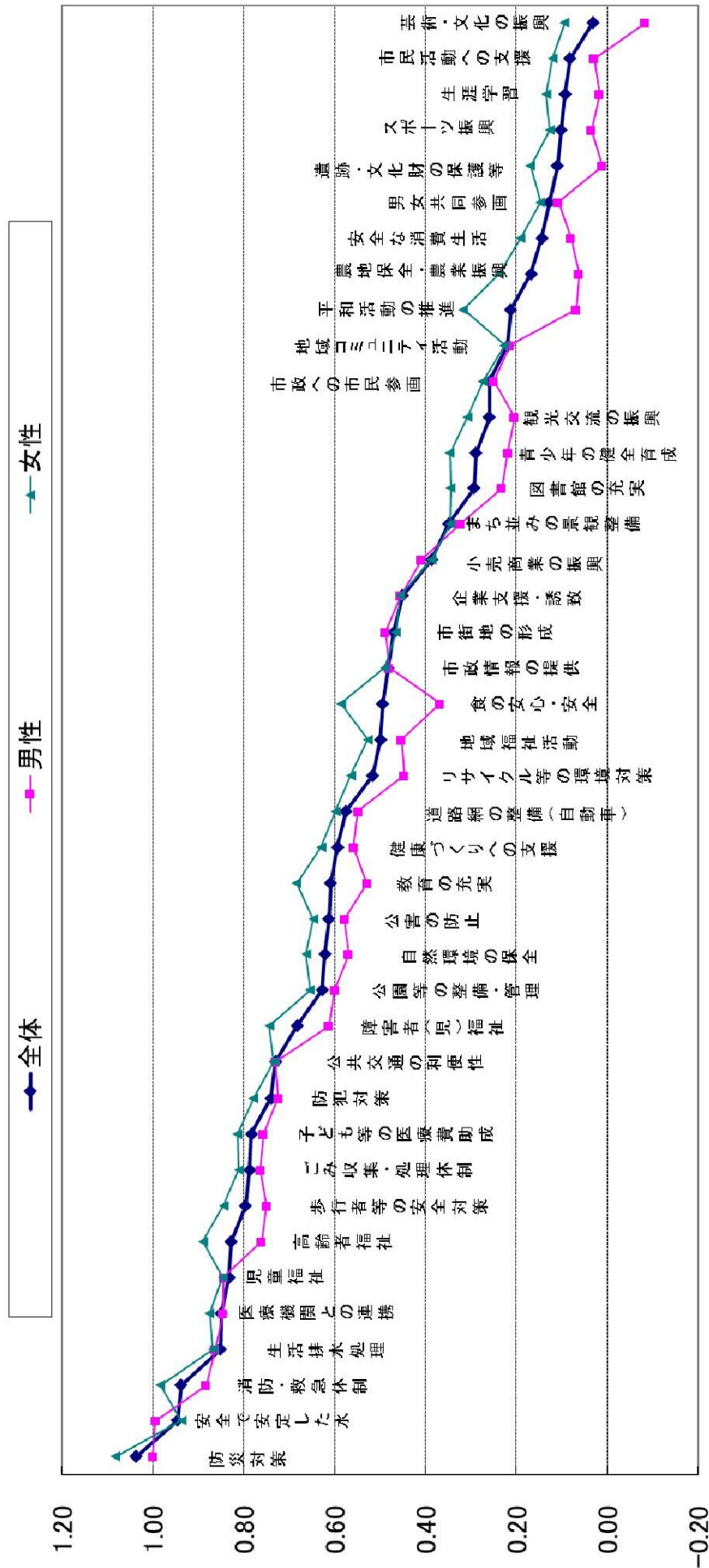


＜総合的な住みやすさについての回答者数内訳＞

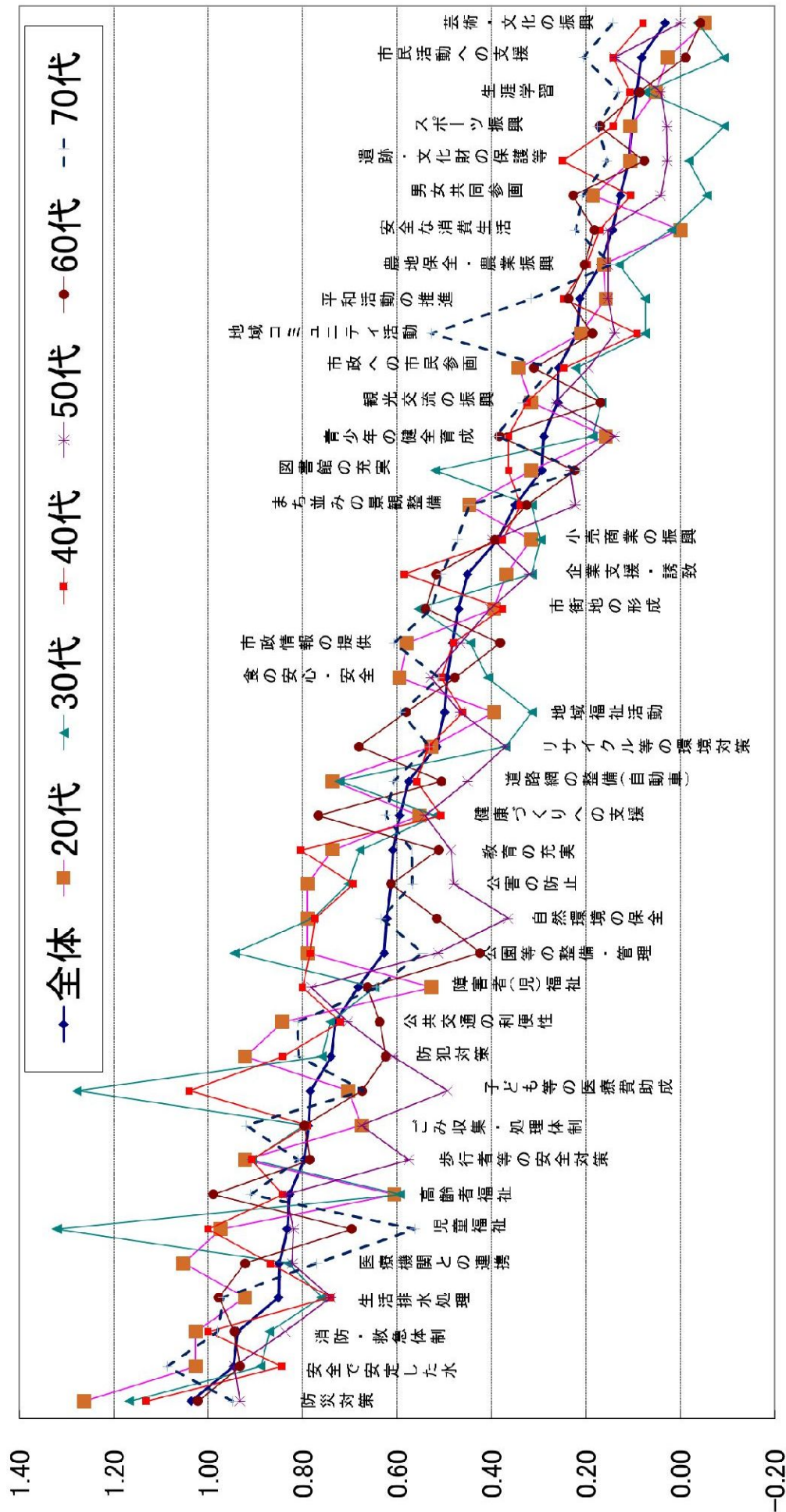
1. 住みやすい：146人、2. どちらかといえば住みやすい：227人、3. どちらとも言えない：55人、4. どちらかといえづい：23人、5. 住みにくい：4人

※「総合的な住みやすさ」は、問6で回答する項目です（24ページ参照）

男女別「施策の重要度」



年代別「施策の重要度」

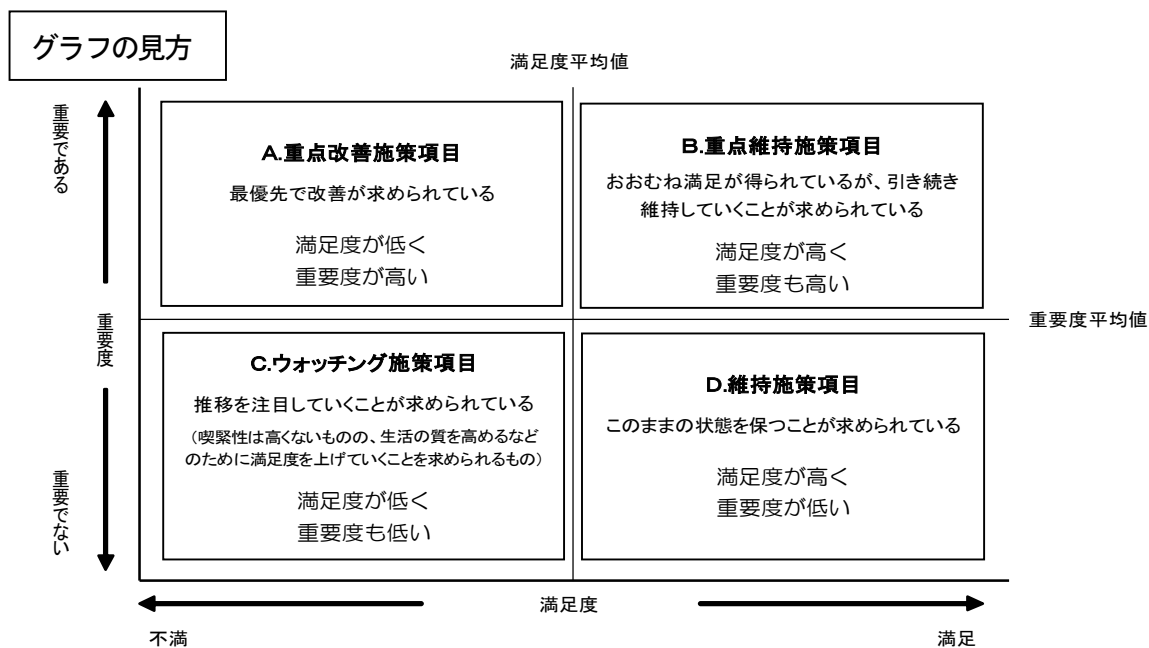


<回答者の年代別内訳>

20代: 39人、30代: 54人、40代: 78人、50代: 75人、60代: 95人、70代以上: 117人 (30ページ参照)

施策に対する満足度と重要度の評価（ポートフォリオ分析）

- 岩倉市の施策に対する市民の満足度の平均得点を横軸、重要度の平均得点を縦軸にして散布図を作成しました。
- 41 項目全体の満足度の平均得点は、0.05 となっています。前回の調査における 41 項目全体の満足度の平均得点が 0.00 であり、0.05 ポイント増加しています。
- 散布図に示してある、41 項目全体の満足度の平均得点 0.05 の線よりも左側にある項目は、満足度が 41 項目の平均よりも低い項目（相対的に満足度の低い施策項目）であり、逆に右側にある項目は平均得点よりも高い項目（相対的に満足度の高い施策項目）です。
- 一方、41 項目全体の重要度の平均得点は、0.50 となっています。前回の調査における 41 項目全体の重要度の平均得点が 0.51 でしたので 0.01 ポイント減少しています。
- 散布図に示してある、0.50 の線よりも下側にある項目は、重要度が 41 項目の平均よりも低い項目（相対的に重要度の低い施策項目）であり、逆に上側にある項目は平均得点よりも高い項目（相対的に重要度の高い施策項目）です。
- 満足度が低く重要度が高い項目、すなわち、当該項目について重要と考えているにもかかわらず、現状において満足していない人が多い施策項目は、施策の優先度が高い項目であり、16 ページ～21 ページの満足度・重要度による散布図の左上の領域に該当する項目です。
- この領域に属する項目（満足度が低く重要度が高い）の中でも、「重要度と満足度の差が大きい項目」を算定したものの上位 15 位を整理すると 15 ページの表のとおりとなります。



満足度と重要度の評価(施策の優先度)トップ15

H28 順位	H27 順位	H26 順位	H25 順位	H24 順位	H20 順位	項 目	今回 優先度 (重要度－満足度)	満足度	重要度	H27 優先度	H26 優先度	H25 優先度	H24 優先度	H20 優先度
→ 1	→ 1	→ 1	→ 1	↑ 1	3	16 歩行者等の安全対策	↑ 1.17	-0.37	0.80	↑ 1.15	↑ 1.26	↓ 1.07	↑ 1.24	1.16
→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	↓ 2	1	13 防災対策	↑ 1.15	-0.11	1.04	↓ 0.98	↑ 1.08	↓ 1.01	↓ 1.07	1.31
→ 3	→ 3	→ 3	→ 3	↑ 3	2	2 医療機関との連携	↓ 0.89	-0.04	0.85	↓ 0.93	↑ 1.01	↑ 1.00	↓ 0.98	1.20
→ 4	→ 4	→ 4	↑ 4	↓ 8	4	3 高齢者福祉	↓ 0.86	-0.03	0.83	→ 0.89	↑ 0.89	↑ 0.84	↓ 0.77	1.05
↑ 5	↓ 11	↑ 7	↓ 8	↑ 6	7	15 防災対策	↑ 0.72	0.02	0.74	↓ 0.68	↓ 0.73	↓ 0.77	↓ 0.83	0.89
↑ 6	→ 8	↑ 8	↓ 12	↑ 10	20	26 市街地の形成	↓ 0.7	-0.23	0.47	↑ 0.72	↑ 0.70	↓ 0.65	↑ 0.70	0.63
↓ 7	↑ 5	↓ 10	↓ 6	↑ 5	16	32 企業支援・誘致	↓ 0.69	-0.24	0.45	↑ 0.87	↓ 0.69	↓ 0.79	↑ 0.87	0.72
↑ 8	↑ 10	↓ 6	↓ 5	↑ 4	6	29 生活排水処理	↓ 0.69	0.16	0.85	↓ 0.7	↓ 0.74	↓ 0.82	→ 0.90	0.90
↑ 9	↑ 15	↓ 16	↓ 14	11	22	25 道路網の整備(自動車)	↑ 0.68	-0.11	0.58	↑ 0.61	↑ 0.60	↓ 0.57	0.70	0.59
↑ 10	↓ 18	↑ 14	↓ 18	↓ 15	12	5 障害者(児)福祉	↑ 0.68	0.01	0.68	↓ 0.58	↑ 0.64	↓ 0.56	↓ 0.61	0.76
↓ 11	↑ 7	→ 10	↑ 10	↓ 17	9	4 児童福祉	↓ 0.66	0.17	0.83	↑ 0.72	↑ 0.69	↑ 0.68	↓ 0.58	0.84
→ 12	↓ 12	→ 10	↑ 10	↓ 12	10	14 消防・救急体制	↑ 0.66	0.28	0.94	↓ 0.65	↑ 0.69	↑ 0.68	↓ 0.67	0.81
↓ 13	↓ 9	↑ 8	→ 9	↓ 9	7	10 公害の防止	↓ 0.64	-0.03	0.61	↑ 0.71	↑ 0.70	↓ 0.69	↓ 0.71	0.89
→ 14	↑ 14	↑ 16	↑ 21	22	15	9 公園等の整備・管理	↓ 0.57	0.05	0.63	↑ 0.62	↑ 0.60	↑ 0.52	0.48	0.73
↑ 15	↓ 19	↑ 16	↓ 22	16	23	6 地域福祉活動	↑ 0.56	-0.06	0.50	↓ 0.53	↑ 0.60	↓ 0.49	0.59	0.56

※太字は14 ページのグラフの見方のA. 重点改善施策項目にあたる項目を示しています。

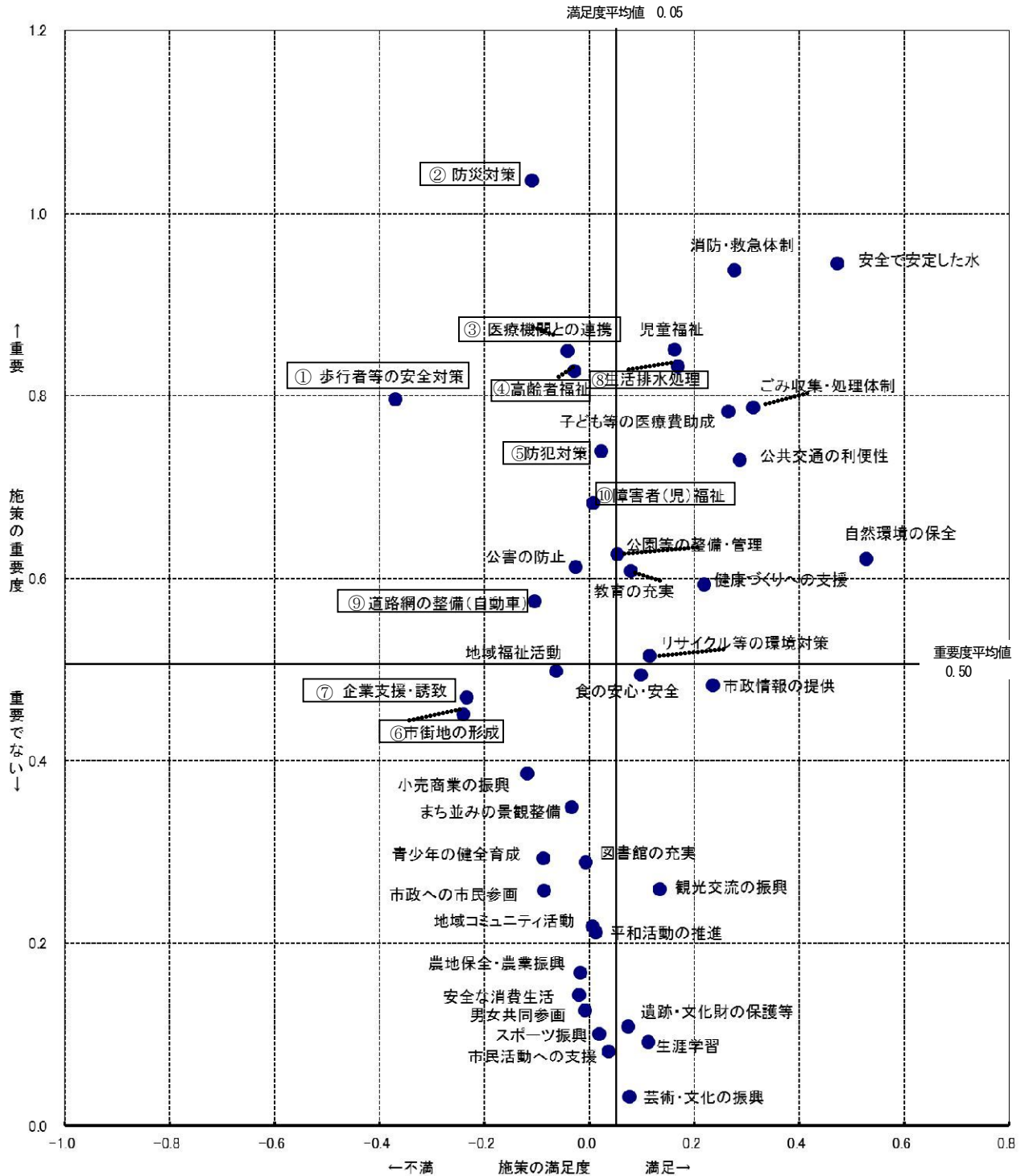
【優先度の高い施策項目】

○交通事故などの社会問題、災害や少子高齢化の進行などに対する社会不安などを背景として、安全・安心や医療に関わる項目の優先度は高く、その内、地域の安全に関わる分野の施策項目では、「歩行者等の安全対策」が1位、「防災対策」が2位となっており、医療に関わる分野の施策項目では、「医療機関との連携」が3位、「高齢者福祉」が4位となっています。

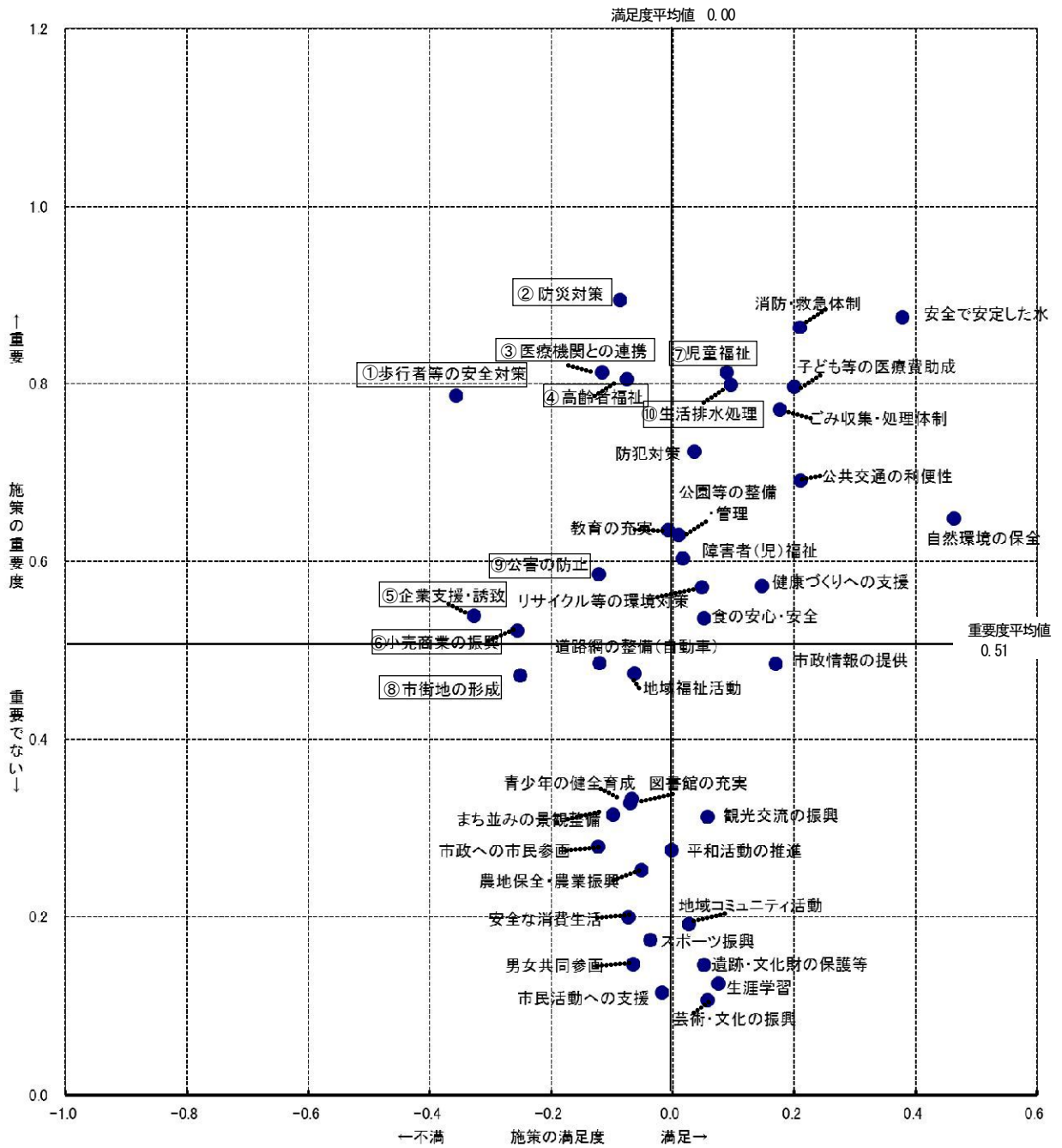
○また、「市街地の活性化」が5位、「企業支援・誘致」が6位などまちの活性化に関する施策項目の優先度もトップ10以内に入っています。

○なお、重要度が平均値よりも低い領域に該当する施策項目の中には、例えば、「観光交流の振興」や「芸術文化の振興」、「地域コミュニティ活動」や「市民活動への支援」などのように、喫緊の課題ではないものの、「より質の高い生活都市」や「協働による成熟した市民社会」を目指して、暮らしの質の向上、市民自治の充実などを図っていく上で必要不可欠な施策項目も含まれておりますので、こうしたこともしっかりと念頭に置きながら政策判断していくことが大切であると考えられます。

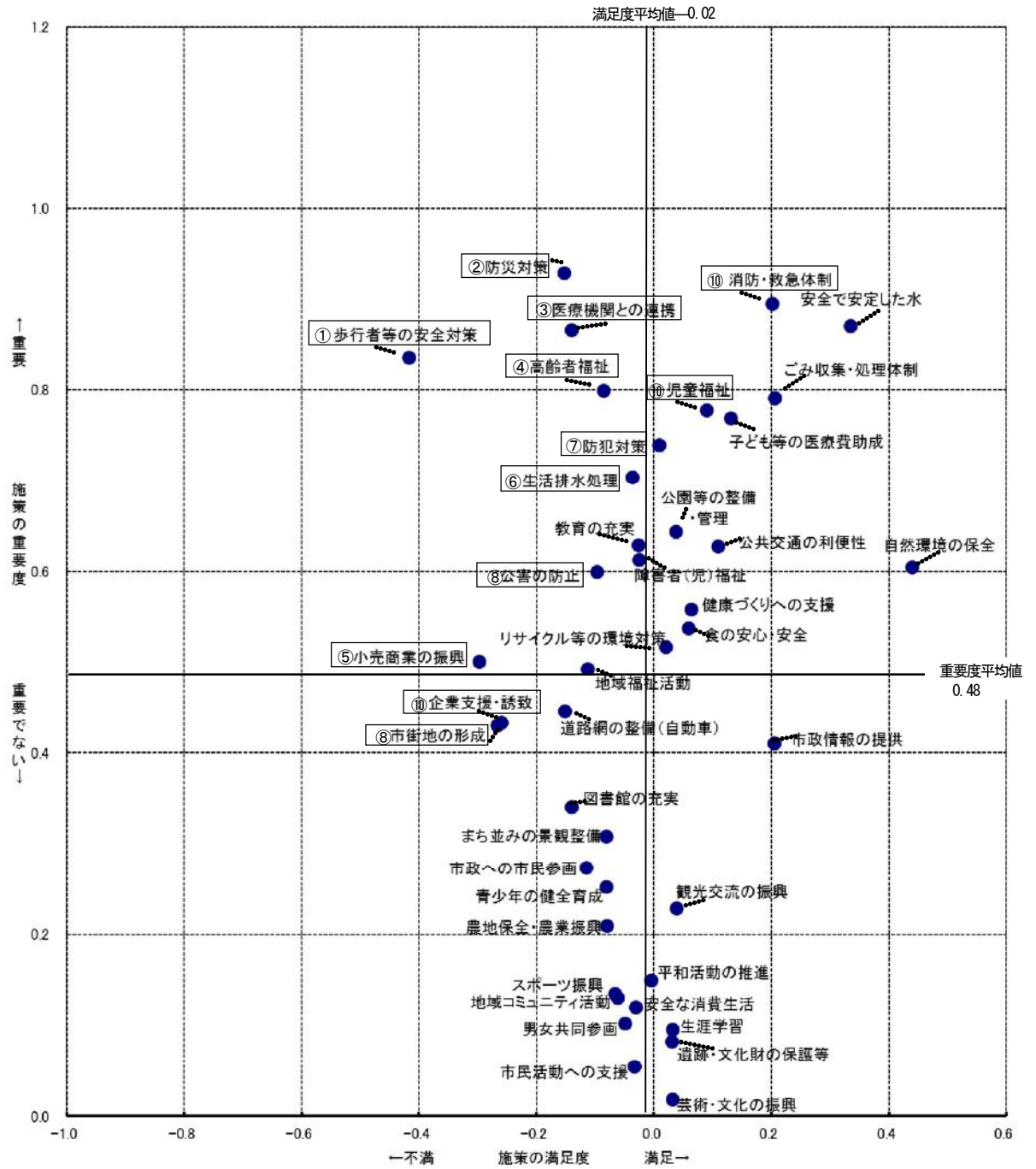
施策の満足度・重要度による散布図(今回の調査)



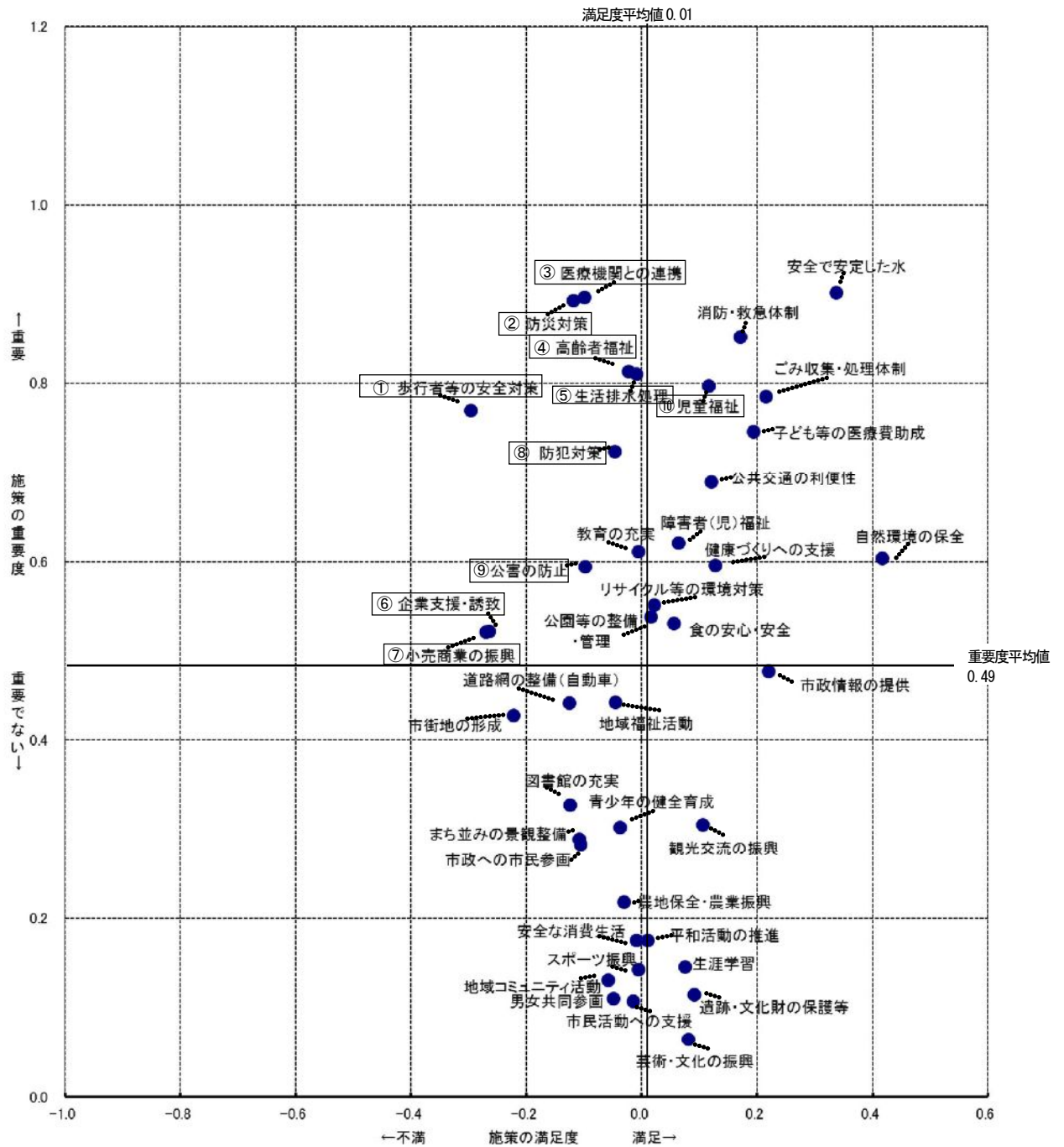
施策の満足度・重要度による散布図（平成27年度）



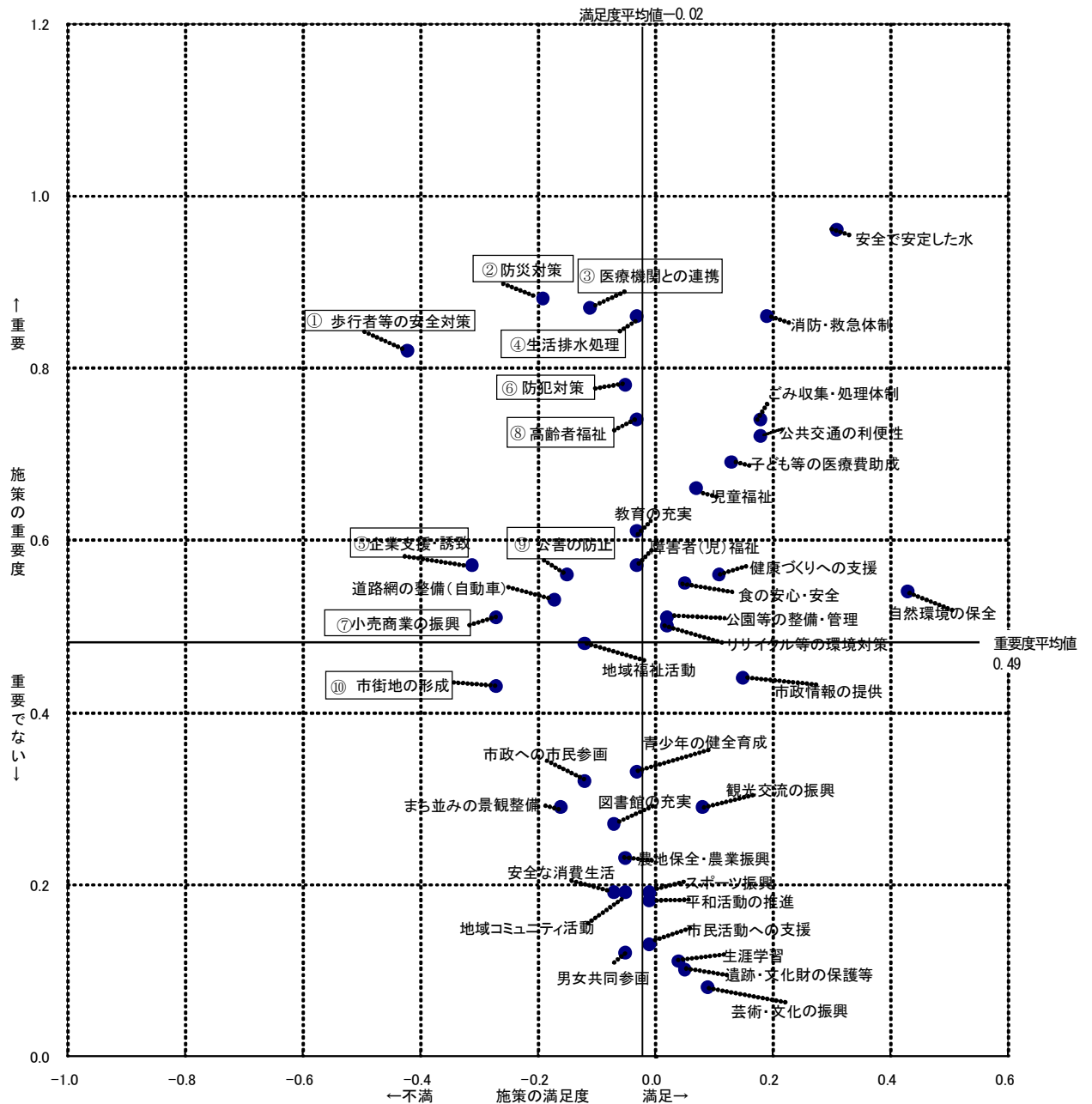
施策の満足度・重要度による散布図（平成26年度）



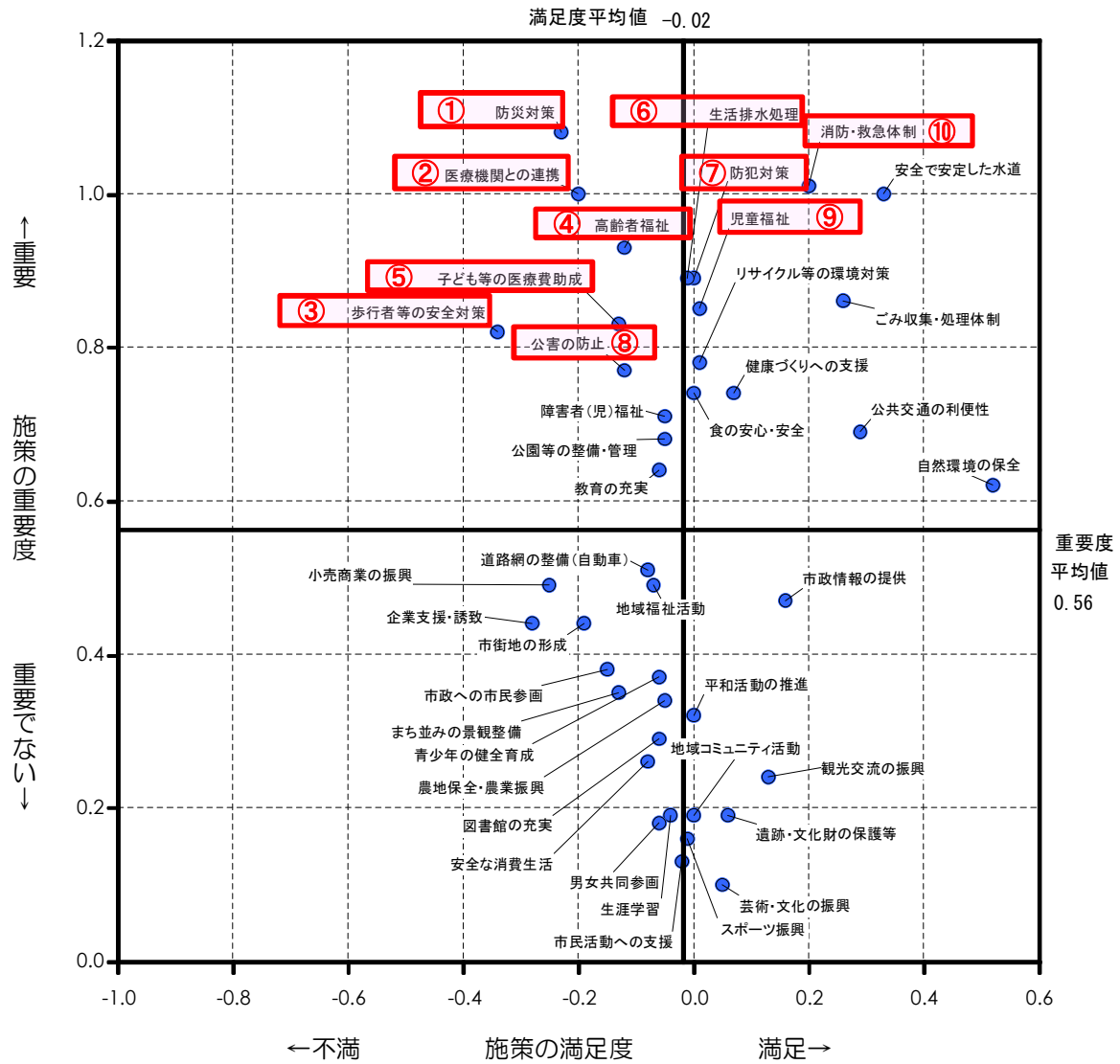
施策の満足度・重要度による散布図（平成25年度）



施策の満足度・重要度による散布図（平成24年度）



施策の満足度・重要度による散布図（平成 20 年度）



満足度と重要度の評価（施策の優先度）

項目	優先度		満足度	順位	重要度	順位
	重要度－満足度	順位				
16 歩行者等の安全対策	1. 17	1	-0. 37	41	0. 80	8
13 防災対策	1. 15	2	-0. 11	37	1. 04	1
2 医療機関との連携	0. 89	3	-0. 04	32	0. 85	5
3 高齢者福祉	0. 86	4	-0. 03	30	0. 83	7
15 防犯対策	0. 72	5	0. 02	20	0. 74	11
26 市街地の形成	0. 70	6	-0. 23	39	0. 47	24
32 企業支援・誘致	0. 69	7	-0. 24	40	0. 45	25
29 生活排水処理	0. 69	8	0. 16	10	0. 85	4
25 道路網の整備（自動車）	0. 68	9	-0. 11	36	0. 58	19
5 障害者（児）福祉	0. 68	10	0. 01	23	0. 68	13
4 児童福祉	0. 66	11	0. 17	9	0. 83	6
14 消防・救急体制	0. 66	12	0. 28	5	0. 94	3
10 公害の防止	0. 64	13	-0. 03	29	0. 61	16
9 公園等の整備・管理	0. 57	14	0. 05	18	0. 63	14
6 地域福祉活動	0. 56	15	-0. 06	33	0. 50	21
23 教育の充実	0. 53	16	0. 08	15	0. 61	17
7 子ども等の医療費助成	0. 52	17	0. 26	6	0. 78	10
33 小売商業の振興	0. 51	18	-0. 12	38	0. 39	26
12 ごみ収集・処理体制	0. 48	19	0. 31	3	0. 79	9
28 安全で安定した水	0. 47	20	0. 47	2	0. 95	2
24 公共交通の利便性	0. 44	21	0. 29	4	0. 73	12
11 リサイクル等の環境対策	0. 40	22	0. 11	12	0. 52	20
31 食の安心・安全	0. 40	23	0. 10	14	0. 49	22
27 まち並みの景観整備	0. 38	24	-0. 03	31	0. 35	27
20 図書館の充実	0. 38	25	-0. 09	35	0. 29	28
1 健康づくりへの支援	0. 38	26	0. 22	8	0. 59	18
38 市政への市民参画	0. 35	27	-0. 09	34	0. 26	31
21 青少年の健全育成	0. 30	28	-0. 01	26	0. 29	29
41 市政情報の提供	0. 25	29	0. 23	7	0. 48	23
37 地域コミュニティ活動	0. 21	30	0. 00	24	0. 22	32
40 平和活動の推進	0. 20	31	0. 01	22	0. 21	33
30 農地保全・農業振興	0. 19	32	-0. 02	27	0. 17	34
34 安全な消費生活	0. 17	33	-0. 02	28	0. 14	35
39 男女共同参画	0. 14	34	-0. 01	25	0. 13	36
35 観光交流の振興	0. 13	35	0. 13	11	0. 26	30
8 自然環境の保全	0. 10	36	0. 53	1	0. 62	15
22 スポーツ振興	0. 08	37	0. 02	21	0. 10	38
36 市民活動への支援	0. 05	38	0. 04	19	0. 08	40
18 遺跡・文化財の保護等	0. 04	39	0. 07	17	0. 11	37
17 生涯学習	-0. 02	40	0. 11	13	0. 09	39
19 芸術・文化の振興	-0. 04	41	0. 08	16	0. 03	41

※ ゴシック体の太字は、A重点改善施策項目にあたる項目を示しています。

生活の場としての評価（問5）

問5 次の1から5のような観点から岩倉市を見た場合、あなたは、どのように感じますか。【あなたの評価をそれぞれで1つずつ選んで番号に○印をつけてください。】

生活の場として生活段階に応じた、5つの観点から評価をしてもらいました。「幼い子供を育てる所」「児童・生徒・学生が生活する所」「家庭を預かる主婦（主夫）が暮らす所」としては「良い」と「普通」と評価した方の合計は90%程度に達しています。一方で、「家族で休日や余暇を過ごす所」については75%程度、「お年寄りが生活していく所」については85%程度となっています。

【全体】

岩倉市を生活の場としてどのように感じているのかについて、「幼い子どもを育てる所」、「児童、生徒、学生が生活する所」、「家庭を預かる主婦（主夫）が暮らす所」、「家族で休日や余暇を過ごす所」、「お年寄りが生活していく所」の5項目に分けて評価を求めています。

○総じてみると、子育て期の子ども、主婦（主夫）が暮らす所としての評価が高くなっています。

○一方、「家族で休日や余暇を過ごす所」としての評価については、本市の場合は市域が狭いために、レジャー施設や公園などの余暇の場をまとめた面積で確保することが困難であることもあり、5項目中最も低い評価が続いています。

<集計結果>

設問1 幼い子供を育てる所としては 1. 良い：193 人、2. 普通：236 人、3. 悪い：19 人、回答なし 19 人。

設問2 児童、生徒、学生が生活する所としては 1. 良い：159 人、2. 普通：265 人、3. 悪い：25 人、回答なし 18 人。

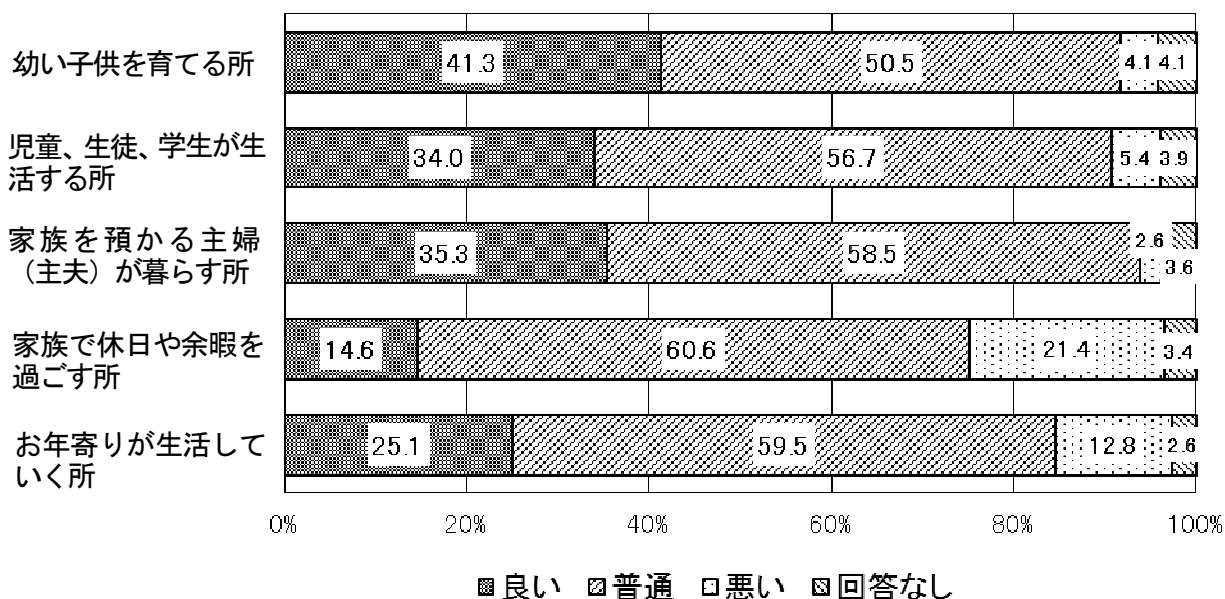
設問3 家庭を預かる主婦（主夫）が暮らす所としては 1. 良い：165 人、2. 普通：273 人、3. 悪い：12 人、回答なし：17 人。

設問4 家族で休日や余暇を過ごす所としては 1. 良い：68 人、2. 普通：283 人、3. 悪い：100 人、回答なし：16 人。

設問5 お年寄りが生活していく所としては 1. 良い：117 人、2. 普通：278 人、3. 悪い：60 人、回答なし：12 人。

いずれもN=467

生活の場としての評価



総合的な住みやすさの評価（問6）

問6 総合的にみて岩倉市は住みよいところだと思いますか。【あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。】

岩倉市に対して住みやすさを感じている市民は 79.9%となっています。住みにくさを感じている市民は5.8%となっています。

【全体】

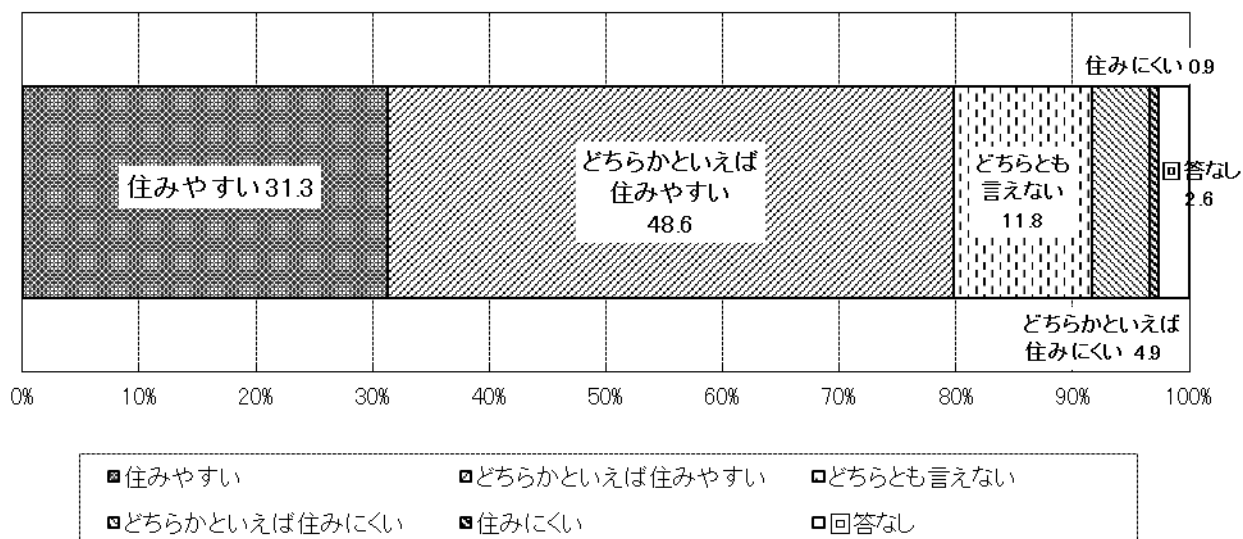
○「住みやすい」が31.3%、「どちらかといえば住みやすい」が48.6%となっており、これらを合わせた岩倉市に対して住みやすさを感じている市民の割合は約80%を占めています。

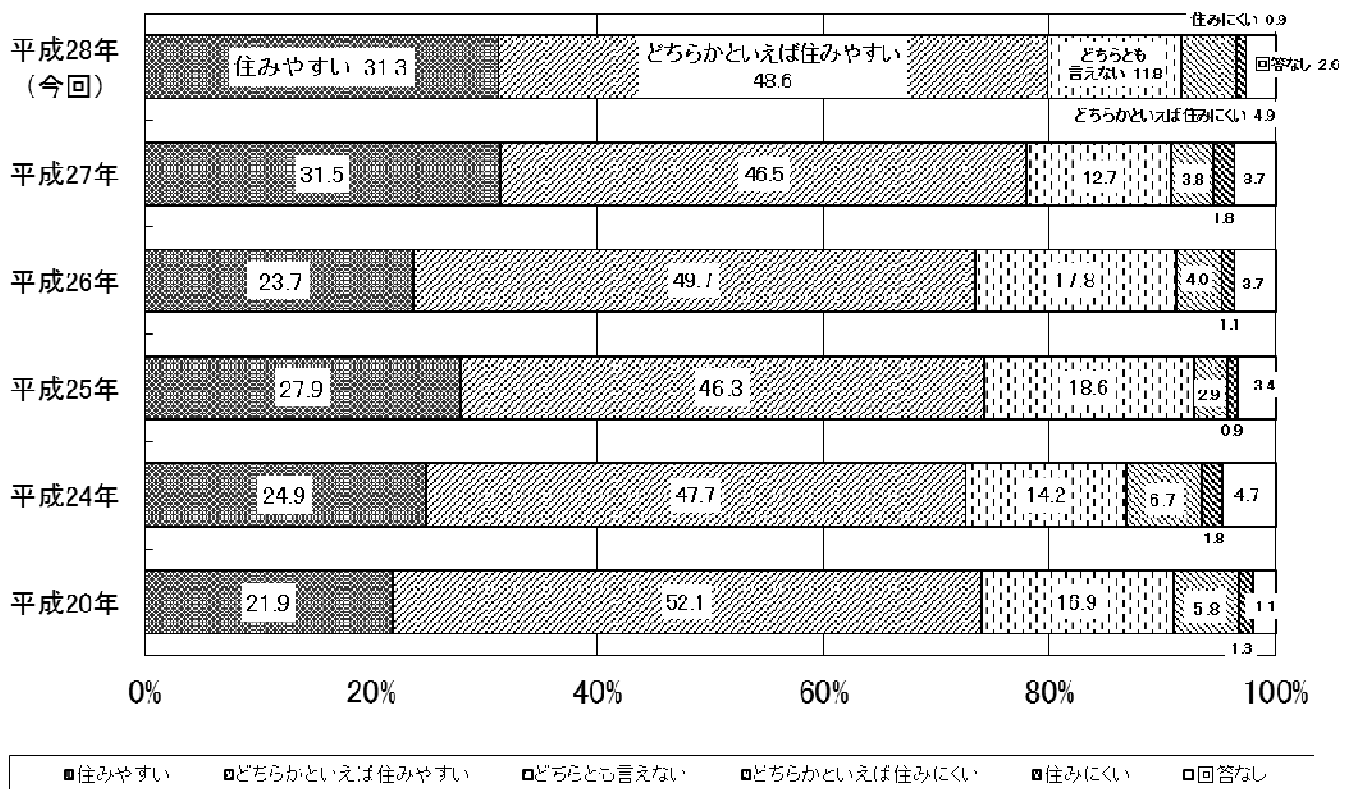
○一方、「どちらかといえば住みにくい」が4.9%、「住みにくい」が0.9%となっており、これらを合わせた岩倉市に対して住みにくさを感じている市民の割合は5.8%にとどまっており、総じて、岩倉市は多くの市民から住みよいまちであるとの評価が得られています。

<集計結果>

1. 住みやすい：146人、2. どちらかといえば住みやすい：227人、3. どちらとも言えない：55人、4. どちらかといえば住みにくい：23人、5. 住みにくい：4人 回答なし=12人。N=467

総合的な住みやすさの評価





定住意向（問7）

問7 あなたはこれからも岩倉市に住み続けたいと思いますか。【あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。】

岩倉市に“定住意向”を示している市民は 84.4%を占めています。この割合は、前回調査よりも 2.7 ポイント上昇しています。

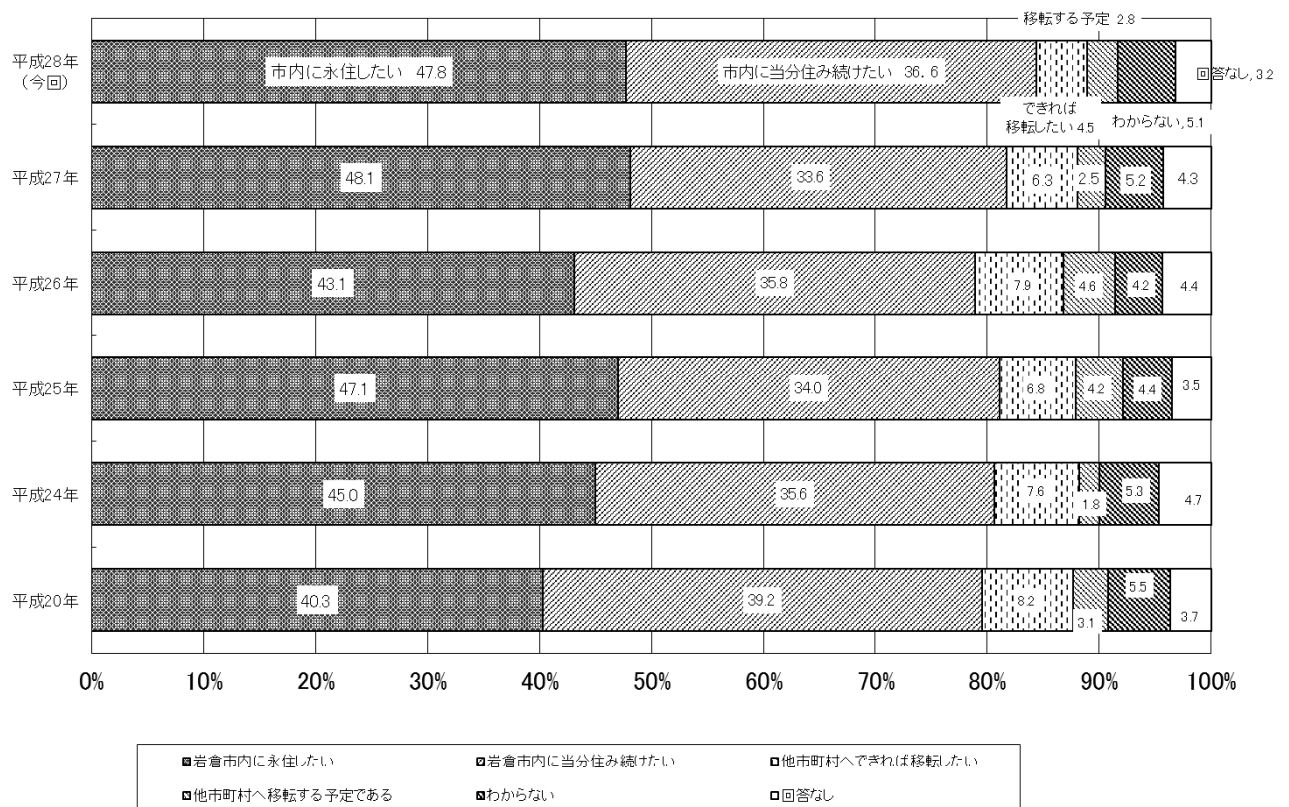
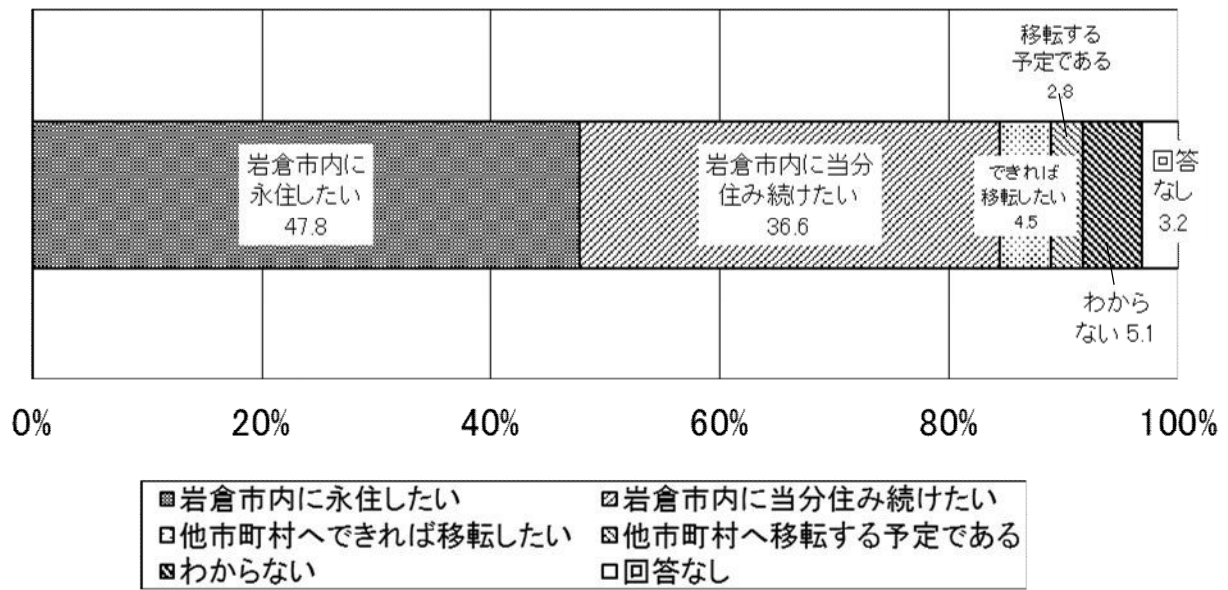
【全体】

- 「岩倉市内に永住したい」が 47.8%、「岩倉市内に当分住み続けたい」が 36.6%となっています。これらを合わせた岩倉市への定住の意向を持つ市民（以下、“定住意向”）は、84.4%を占めています。
- 「他市町村へできれば移転したい」が 4.5%、「他市町村へ移転する予定である」が 2.8%となっています。これらを合わせた岩倉市から他市町村への移転の意向を持つ市民（以下、“移転意向”）については 7.3%となっています。

＜集計結果＞

1 永住したい：223 人、2 当分住み続けたい：171 人、3 他市町村へできれば移転したい：21 人、4 他市町村へ移転する予定である：13 人、5 わからない：24 人、回答なし：15 人、N=467

定住意向



定住理由（問7-1）

問7-1 問7で1、2のいずれかをお答えの方にお伺いします。その理由は何ですか。【あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。】

定住意向を持つと回答した方に、定住理由を尋ねました。「自分の家や土地があるから」を理由とする市民が最も多く、「永年住みなれ、愛着があるから」、「通勤・通学・買物などに便利だから」が比較的多くなっています。

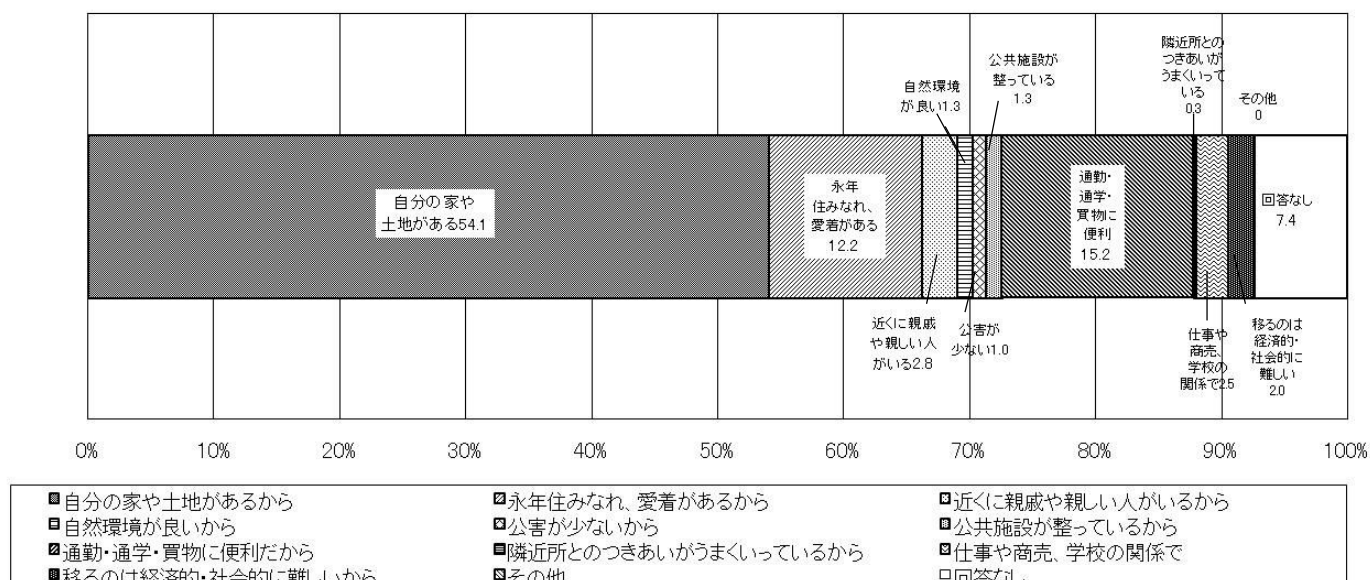
【全体】

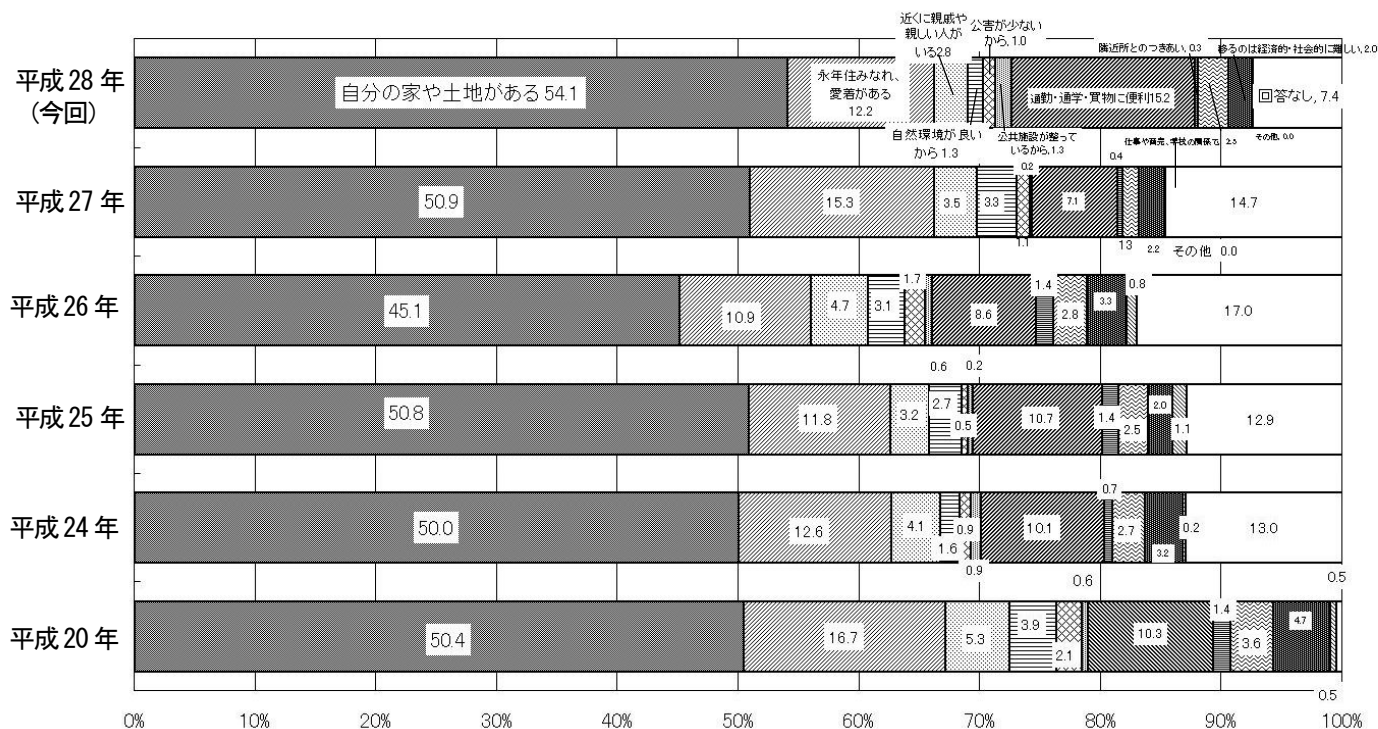
○「自分の家や土地があるから」が54.1%と半数を占めています。次いで「通勤・通学・買物に便利だから」が15.2%、「永年住みなれ、愛着があるから」が12.2%の順となっています。

＜集計結果＞

1. 自分の家や土地があるから：213人、2. 永年住みなれ、愛着があるから：48人、3. 近くに親戚や親しい人がいるから：11人、4. 自然環境が良いから：5人、5. 公害が少ないから：4人、6. 公共施設が整っているから：5人、7. 通勤・通学・買物に便利だから：60人、8. 隣近所とのつきあいがうまくいっているから：1人、9. 仕事や商売、学校の関係で：10人、10. 移るのは経済的・社会的に難しいから：8人、11. その他：0人、回答なし：29人、N=394

定住理由





■自分の家や土地があるから	■永年住みなれ、愛着があるから	■近くに親戚や親しい人がいるから
■自然環境が良いから	■公害が少ないから	■公共施設が整っているから
■通勤・通学・買物に便利だから	■隣近所となじめないから	■仕事や商売、学校の関係で
■移るの経済的・社会的に難しいから	■その他	□回答なし

※ 平成 24 年度から今回までの調査においては、複数の項目を選択した人を「回答なし」に含んでいます。

移転理由（問 7 - 2）

問 7-2 問 7 で 3、4 のいずれかをお答えの方にお伺いします。その理由は何ですか。【あてはまるものを 1 つ選んで○印をつけてください。】

移転意向を持つと回答した方に、移転理由を尋ねました。「通勤・通学・買物に不便」という理由が最も多くなっており、次いで、「自分の家や土地でないから」「公共施設が整っていないから」「仕事や商売、学校の関係で」「生まれ育ったところでないから」の順となっています。

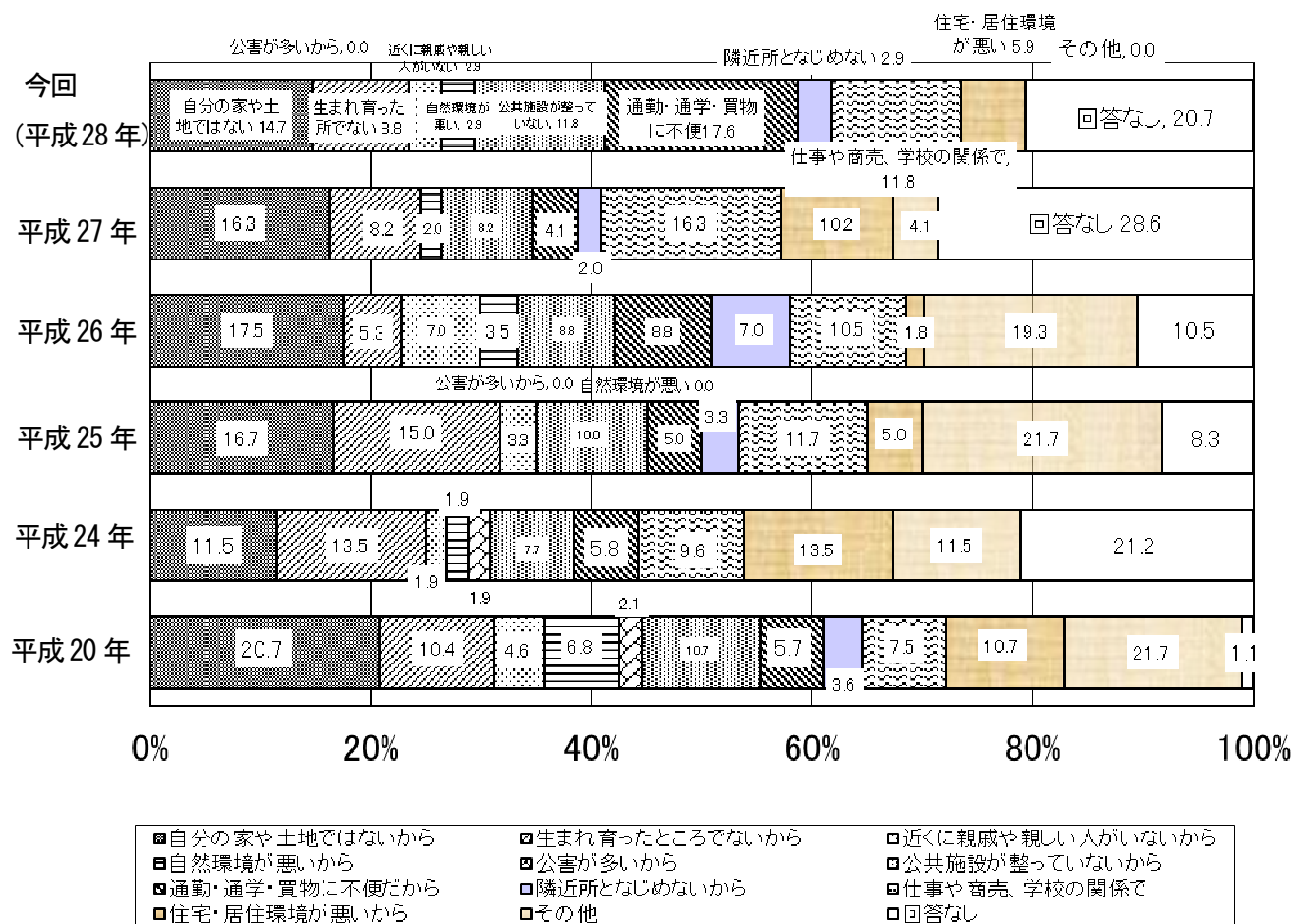
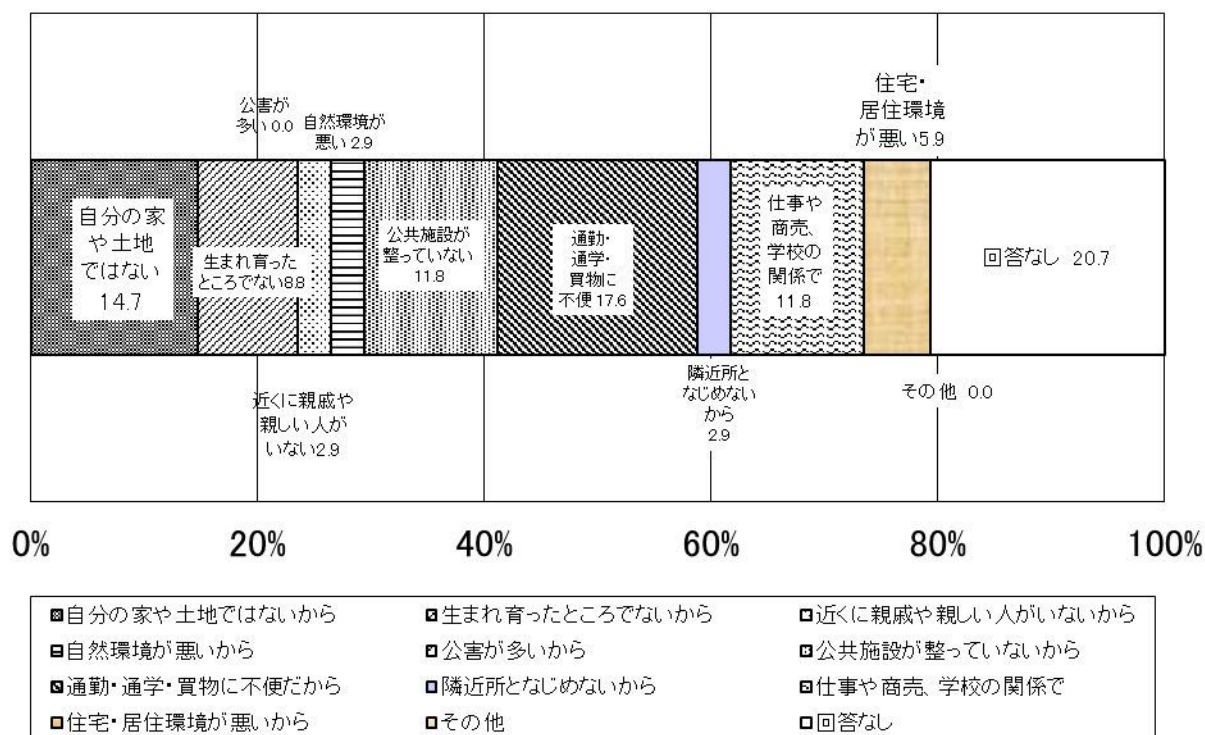
【全体】

○「通勤・通学・買物に不便」が 17.6%で最も多くなっています。次いで、「自分の家や土地でないから」が 14.7%、「公共施設が整っていないから」及び「仕事や商売、学校の関係で」が 11.8%、「生まれ育ったところでない」が 8.8%となっています。

<集計結果>

1. 自分の家や土地ではないから：5 人、2. 生まれ育ったところでないから：3 人、3. 近くに親戚や親しい人がいないから：1 人、4. 自然環境が悪いから：1 人、5. 公害が多いから：0 人、6. 公共施設が整っていないから：4 人、7. 通勤・通学・買物に不便だから：6 人、8. 隣近所となじめないから：1 人、9. 仕事や商売、学校の関係で：4 人、10. 住宅・居住環境が悪いから：2 人、11. その他：0 人、回答なし：7 人、N=34

移転理由



※平成24年度から今回までの調査においては、複数の項目を選択した人を「回答なし」に含んでいます。

2. 回答者のプロフィール

性別・年齢・学校区（問1・2・3）

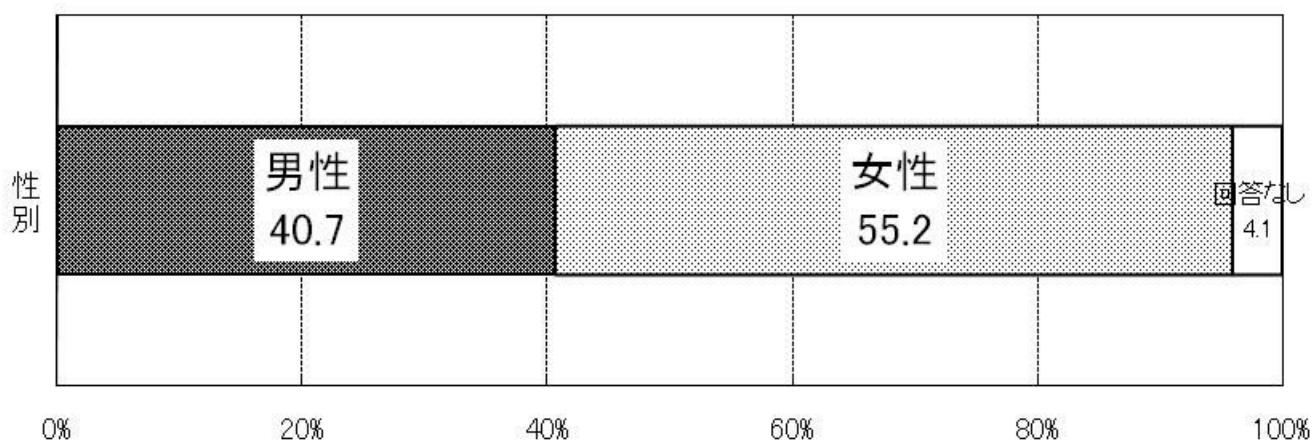
問1 あなたの性別・年齢・校区について、教えてください。【あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。】

【性別】

回答者の性別は、「男性」が40.7%、「女性」が55.2%と、女性が男性を上回っています。

＜集計結果＞ 男性 190 人、女性 258 人、回答なし 19 人 N=467

回答者の性別



【年齢層】

回答者の年齢層については、若年層（20 歳代と 30 歳代）が 20.0%、壮年者層（40 歳代と 50 歳代）が 32.7%、高齢者層（60 歳以上）が 45.3%となっています。

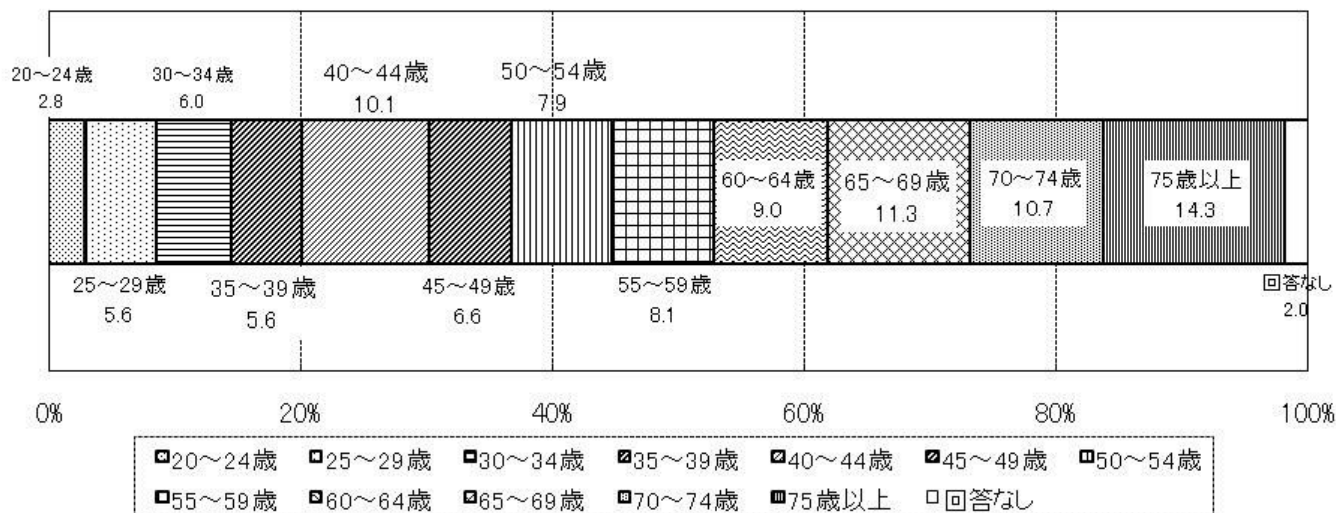
【年齢：全体】（図 1-1-2）

- 「20 歳代」が 8.4%、「30 歳代」が 11.6%で、これらを合わせた若年層は 20.0%となっています。
- 「40 歳代」が 16.7%、「50 歳代」が 16.0%で、これらを合わせた壮年者層は 32.7%となっています。
- 「60 歳代」が 20.3%、「70 歳以上」が 25.0%で、これらを合わせた高齢者層は 45.3%となっています。
- 65 歳以上の高齢者については 36.3%となっており、さらに後期高齢者にあたる 75 歳以上については 14.3%となっています。

<集計結果>

20～24歳：13人、25～29歳：26人、30～34歳：28人、35～39歳：26人、40～44歳：47人、45～49歳：31人、50～54歳：37人、55～59歳：38人、60～64歳：42人、65～69歳：53人、70～74歳：50人、75歳以上：67人、回答なし：9人
N=467

回答者の年齢



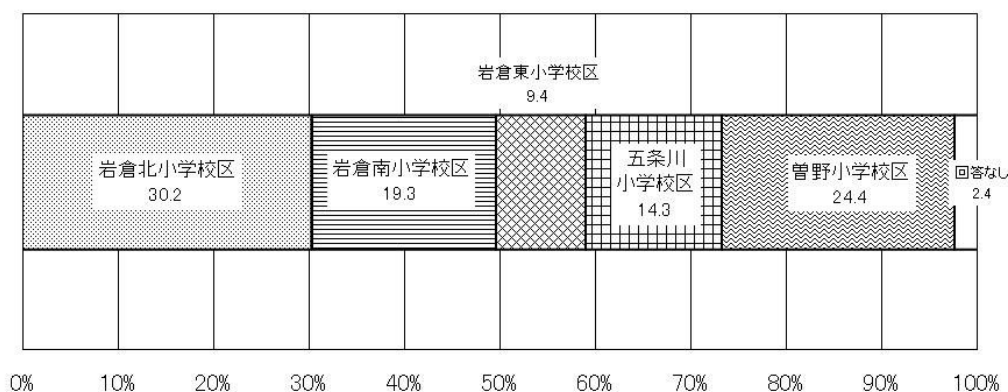
【校区】

回答者の校区別の割合については、岩倉北小学校区：30.2%、岩倉南小学校区：19.3%、岩倉東小学校区：9.4%、五条川小学校区：14.3%、曽野小学校区：24.4%となっています

<集計結果>

岩倉北小学校区：141人、岩倉南小学校区：90人、岩倉東小学校区：44人、五条川小学校区：67人、曽野小学校区：114人、回答なし：11人、N=467

回答者の校区



資料

岩倉市行政経営プラン 市民満足度調査

《アンケート調査ご協力のお願い》

市民の皆さまには日頃から岩倉市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

岩倉市では、平成24年3月に、本市の限られた経営資源を最大限活用しながら、市民意向と費用対効果を多角的に検討して施策に取り組むことにより、市民満足度の向上を図ることを目標として、「岩倉市行政経営プラン」を策定しました。（岩倉市行政経営プランは、市役所1階情報サロンで閲覧できます。また、市ホームページにも掲載しています）

計画の目標年度が平成27年度とされているため、その効果検証を図るとともに、市民の皆様が、市の施策にどの程度満足しているか、住みやすいかを測るための指標を得るため、「本市の施策に対する市民の満足度」を調査することとしましたので、ご協力をいただきますようお願いいたします。

平成28年4月 岩倉市長 片岡 恵一

《ご記入に当たってのお願い》

○アンケートについて

- ・この調査の対象は、岩倉市にお住まいの20歳以上の方1,500人を無作為に抽出してお願いしています。なお、抽出データは平成28年4月15日現在のものですので、この日以降、異動があった方に送付された場合はご容赦ください。
- ・調査結果は、すべての方の回答を一括で統計的に処理し、**個人の回答内容が明らかになることはありません。**

○記入に当たってのお願い

- ・回答は、選択項目の中から**当てはまる番号を○印で囲んでください。**
- ・このアンケートはできるだけ宛名のご本人がお答えください。事情によって、ご本人が回答できない場合は、ご家族の方でお答えください。
- ・ご記入されたアンケート用紙は、無記名のまま同封した返信用封筒（切手不要）にて、投函してください。

○ アンケートについてのご質問やお問い合わせは、下記までお願いします。

**5月27日（金）
までにご回答を
お願いします。**

岩倉市総務部行政課行政グループ（担当：佐藤・渡部）

電 話 0587-38-5804（直通）

FAX 0587-66-6100

E-mail gyousei@city.iwakura.lg.jp

1 あなた自身のことについて

問1 性別【あてはまる番号を○印で囲んでください。】

1. 男性 2. 女性

問2 年齢【あてはまる番号を○印で囲んでください。】

(平成28年4月1日現在の年齢でお答えください)

1. 20～24歳 2. 25～29歳 3. 30～34歳 4. 35～39歳
5. 40～44歳 6. 45～49歳 7. 50～54歳 8. 55～59歳
9. 60～64歳 10. 65～69歳 11. 70～74歳 12. 75歳以上

問3 お住まいの校区【あてはまる番号を○印で囲んでください。】

1. 岩倉北小学校区 2. 岩倉南小学校区 3. 岩倉東小学校区
4. 五条川小学校区 5. 曽野小学校区

●校区（校区がわからない方は、下表で番号を確かめてください。）

あ行	旭町		➡	2
	石仏町	岩塚・島海道・五山寺・たりの一部（14～52番地）	➡	1
		上記以外	➡	4
	泉町		➡	1
	稲荷町	大摩、細畑、樋先、高畑、半田の一部（新堀用排水路より西側）	➡	2
		上記以外	➡	5
	井上町		➡	4
か行	神野町		➡	4
	川井町		➡	2
	北島町		➡	2
	五条町		➡	5
さ行	西市町		➡	1
	栄町		➡	1
	下本町	西沼	➡	2
		燈明庵	➡	3
		上記以外	➡	5
	昭和町	1・2丁目（行政区 下本町）	➡	2
		3丁目（行政区 稲荷町）	➡	5
	新柳町		➡	1
	鈴井町		➡	1
	曽野町		➡	5

た行	大山寺町		➡	5
	大山寺本町		➡	5
	大山寺元町		➡	5
	大市場町		➡	5
	大地新町		➡	2
	大地町		➡	2
	中央町		➡	2
な行	中野町		➡	1
	中本町	南葭原、東葭原、南加路桶、葭原の一部（5番地以上）	➡	3
		上記以外	➡	1
	野寄町		➡	2
は行	東新町		➡	3
	東町	仙奈・掛目	➡	3
		上記以外	➡	1
	本町	一丁田（線路より東側）	➡	5
		上記以外	➡	1
ま行	南新町		➡	2
	宮前町		➡	1
や行	八剱町	脇之本	➡	3
		上記以外	➡	4

2 岩倉市の施策について

問4 あなたは、岩倉市が行っているさまざまな施策について、どの程度満足していますか。
また、どの程度重要だと考えていますか。【次の1から41までの各項目について、「満足度」と「重要度」をそれぞれで1つずつ選んで○印をつけてください。】

項 目	満足度					重要度				
	満 足	やや 満足	普 通	やや不 満	不 満	非常 に重要	重 要	普 通	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い
記入例) ○○○○○○について	1	2	③	4	5	1	2	3	④	5
1. 生活習慣病予防・健康相談などの健康 管理や健康づくりのための支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 市内や近隣の医療機関との連携・協 力や医療情報の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 介護保険サービス等の高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 子育てに関する支援や相談などの児 童福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 生活・自立支援などの障害者（児） 福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 市民同士の助け合いによる*地域福 祉活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 子ども、障害者などの医療費の助成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 五条川や桜並木などの自然環境の保 全・再生・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 公園や子どもの遊び場などの整備・ 維持管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 公害（騒音・振動・汚濁等）の防止	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 二酸化炭素削減やリサイクルなどの 環境対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. ごみ収集・処理体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 地震や浸水などの防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 消防・救急体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 防犯パトロールなどの取組みの支援 や防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 歩行者や自転車が安全に移動できる 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17. 生涯学習の場やメニューの内容・数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18. 遺跡・文化財の保護・継承・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19. 音楽・絵画など芸術・文化の振興や 市民の文化活動への支援の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	満足度					重要度				
	満 足	やや 満足	普 通	やや不 満	不 満	非常 に重要	重 要	普 通	あまり 重要でない	重要でない
20. 図書館の蔵書数やサービス内容	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21. 青少年の健全育成のための相談体制 や社会参加の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22. 施設の有効活用などによるスポーツ への参加機会の拡大や振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23. 小・中学校の教育活動の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24. 電車・バスなどの公共交通の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25. 自動車の移動が便利な道路網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26. 計画的な市街地整備や再開発などによる 質の高い市街地の形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. まち並みや沿道などの景観整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28. 安全な水道水の安定した供給の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29. 下水道整備などの生活排水処理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30. 農地の保全活用などの農業振興策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31. 地産地消などの食の安心・安全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32. 産業振興（既存企業への支援や新たな 企業の誘致）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33. 日常生活に必要な商業の振興（地域 に根ざした商業の形成や意欲のある 事業者の育成など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34. 消費生活相談体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35. 五条川や史跡などを有効活用した観光 交流の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36. N P Oや市民団体など主体的な市民 活動への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37. 行政区や自治会など地域コミュニテ ィ活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38. 計画段階からの市政への市民参画	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39. 男女共同参画社会形成のための啓発 活動や環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40. 平和活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
41. 広報やホームページなどによる市政 情報の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

地域福祉：それぞれの地域において人びとが安心して暮らせるよう、地域や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です。

問5 次の1から5のような観点から岩倉市を見た場合、あなたは、どのように感じますか。
【あなたの評価をそれぞれで1つずつ選んで番号に○印をつけてください。】

項 目	評 価		
1. 幼い子どもを育てる所としては	1.良い	2.普通	3.悪い
2. 児童、生徒、学生が生活する所としては	1.良い	2.普通	3.悪い
3. 家庭を預かる主婦（主夫）が暮らす所としては	1.良い	2.普通	3.悪い
4. 家族で休日や余暇を過ごす所としては	1.良い	2.普通	3.悪い
5. お年寄りが生活していく所としては	1.良い	2.普通	3.悪い

問6 総合的にみて岩倉市は住みよいところだと思いますか。【あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。】

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかと言えば住みやすい |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかと言えば住みにくい |
| 5. 住みにくい | |

問7 あなたはこれからも岩倉市に住み続けたいと思いますか。【あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。】

1. 岩倉市内に永住したい

2. 岩倉市内に当分住み続けたい

3. 他市町村へできれば移転したい

4. 他市町村へ移転する予定である

5. わからない

問7-1 問7で1、2のいずれかをお答えの方にお伺いします。その理由は何ですか。【あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。】

1. 自分の家や土地があるから
2. 永年住みなれ、愛着があるから
3. 近くに親戚や親しい人がいるから
4. 自然環境が良いから
5. 公害が少ないから
6. 公共施設が整っているから
7. 通勤・通学・買物に便利だから
8. 隣近所とのつきあいがうまくいっているから
9. 仕事や商売、学校の関係で
10. 移るのは経済的・社会的に難しいから
11. その他（ ）

問7-2 問7で3、4のいずれかをお答えの方にお伺いします。その理由は何ですか。【あてはまるものを1つ選んで○印をつけてください。】

1. 自分の家や土地でないから
2. 生まれ育ったところでないから
3. 近くに親戚や親しい人がいないから
4. 自然環境が悪いから
5. 公害が多いから
6. 公共施設が整っていないから
7. 通勤・通学・買物に不便だから
8. 隣近所となじめないから
9. 仕事や商売、学校の関係で
10. 住宅・居住環境が悪いから
11. その他（ ）

◆岩倉市のまちづくりや市政全般について、アイデアやご意見などがございましたら、どのようなことでも結構ですからご自由にお書きください。

[illegible]

調査へのご協力
ありがとうございました。
結果については、市の広報
等で公表します。

岩倉市のPR大使 い〜わくん